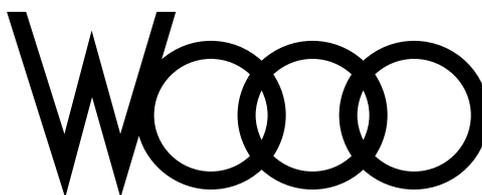
QR66982

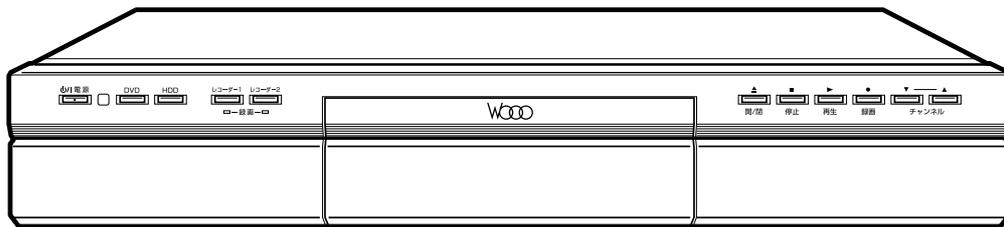
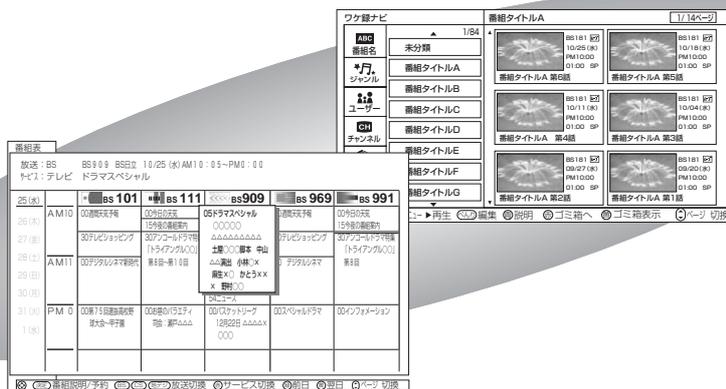
HITACHI
Inspire the Next

日立ハイビジョンHDD/DVDレコーダー

DV-DH1000D
DV-DH500D
DV-DH250D
DV-DH160D

取扱説明書

操作編

Wooo

はじめに 接続・設定編 をお読みください。

はじめに
テレビ番組を見る
おしえてボタンとべんりボタン
録る
観る
残す・消す
編集する
付録

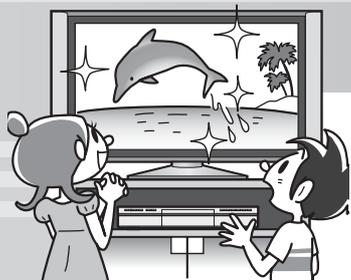
●本機は業務用には対応していません。

HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。
万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDDの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

本取扱説明書の内容は2006年4月現在の放送運用に基づいて作成されています。今後の放送運用の変更により、一部内容が異なる場合があります。

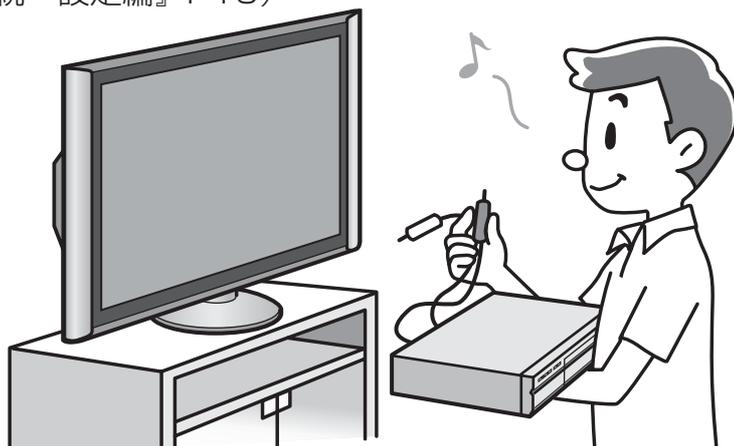
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

もっと楽しく、もっと快適に！

「カンタン・べんり」な機能がいろいろ。
誰でも楽しく使えます。

接続する

接続・設定がわからない…

かんたん接続・設定（『接続・設定編』P19）

おしえてボタン

操作がわからない…

よく使う機能をかんたんガイド（P38）

録る

録りたい番組が重なったら…

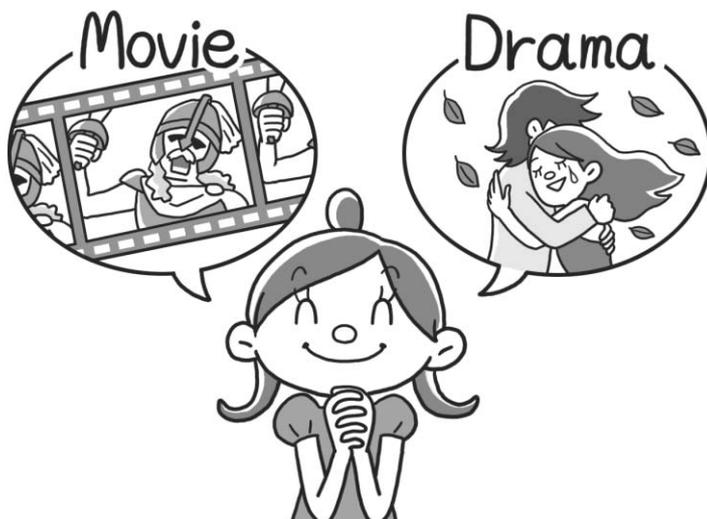
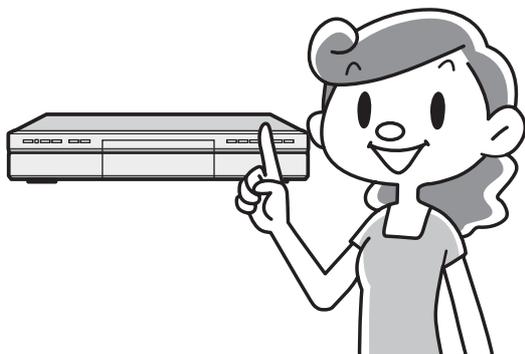
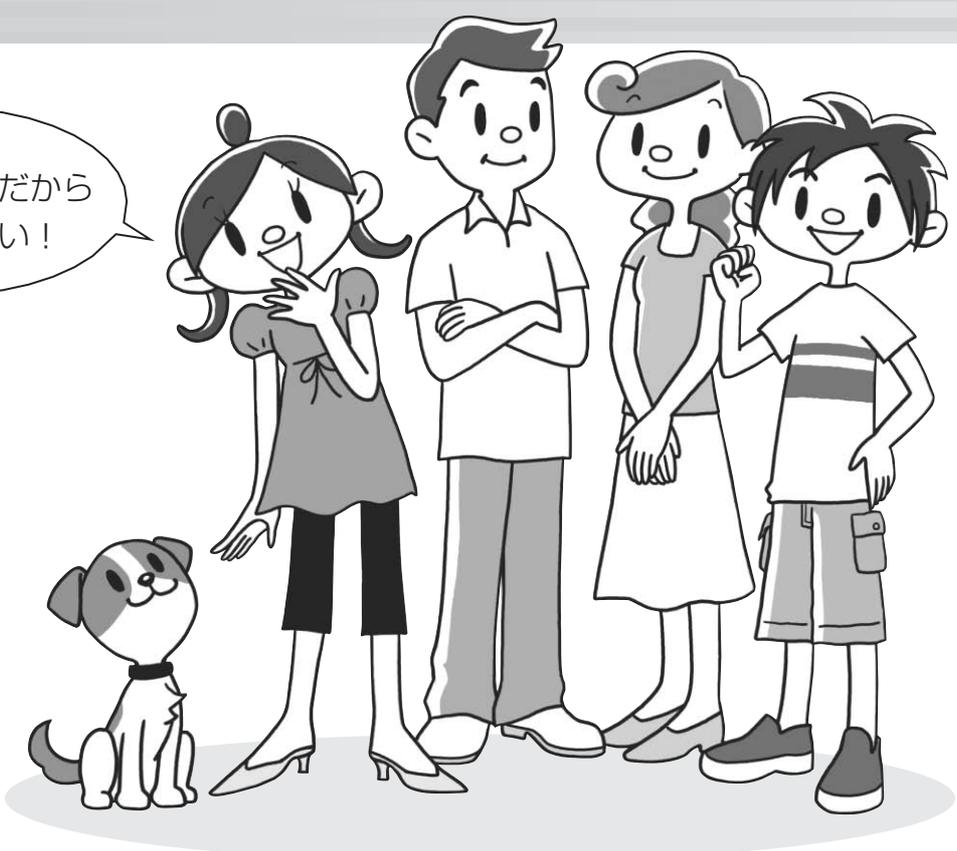
ダブルでハイビジョン録画（P48）

日立HDDレコーダー内蔵テレビから番組を移動する…

WoooでLink（P50）

お気に入りの番組を自動で録画する…

お気に入り自動録画（P68）

観る

たくさん録った番組を…

ワケ録ナビが自動で番組整理（P90）

本編のダイジェスト再生を楽しむ…

いいとこ観（P99）

本編以外のシーンを自動的にとばす…

とばし観（P86）

残す・消す

連続ドラマをまとめたい…

かんたんDVD保存（P114）

不要な番組を移動／消去したい…

ゴミ箱に移動し、空にする（P121、123）

もくじ

はじめに

テレビ番組を見る

おしえてボタンとべんりボタン

録る

観る

残す・消す

編集する

付録

ハードディスク（HDD）について

必ずお読みください

ハードディスク(HDD)の取扱いについてのお願い

本機に内蔵のハードディスク(以下HDD)は非常に精密な機器です。使用する環境や取扱いによりHDDの動作および寿命に影響を与える場合がありますので、次の内容を必ずお守りください。

■ HDDは一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。あくまでも一度見るまで、または編集やDVDディスクにダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

■ HDDに異常を感じた場合はすぐにダビングを

HDD内に不具合箇所があると、異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合には、すみやかにDVDディスクにダビングし、修理をご依頼ください。
HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

■ 設置時

- 後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。
- 水平で振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
- ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
- 「結露」(つゆつき)が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。
  「結露」とは、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒い所から暖かい場所へ移動して設置する場合は「結露」が起こりやすくなります。そのような場合は、室温に約2～3時間なじませてから電源を入れてください。
- 温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると故障の原因になります。
- 安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。
- HDDは精密部品であり、5℃以下の低温では動作保証しかねます。冬季などの録画予約時には本機の周囲温度にご注意ください。

■ 動作中

- 電源プラグを抜いたり、電源ブレーカを切らないでください。
- 振動や衝撃を与えたり、本機を動かしたりしないでください。
- 動かすときには・・・①本体前面の電源スイッチを「切」にしてください。
  ②電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ③2分以上待ってから本機を動かしてください。

お知らせ

- **本機の電源が入っている間、HDDは高速で回転しています。起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。**
- **データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。**

■ 停電が発生した場合

- 記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、HDDの録画内容が損なわれる可能性があります。

■ 故障時のお願い

- 再生画面が一時停止したり乱れが頻繁に発生する場合は、HDDの故障が考えられます。このような場合はHDDの交換修理が必要です。
- HDDを交換修理する場合、HDDの録画内容を新しいHDDに移すことはできません。
- 修理の際は、必ずお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
  ご自分でHDDを交換修理することはできません。本機を分解されますと、保証が無効になります。

万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合HDDの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理も含む）にも同様です。あらかじめご了承ください。

本書の見かた

タイトル
録画した番組を管理する
使えるディスクの種類
（12～14ページ）
録画した番組のタイトルを入力する
HDD TS HDD VR RAM RW VR RW V R VR R V
本機で録画した番組にタイトル（番組名）を入力することができます。タイトルを入力すると、ディスクナビゲーション画面のリスト一覧表示で入力したタイトル（番組名）が表示されます。
リモコン
操作で使用するボタン名を記載しています。
ディスクナビゲーションボタン
べんりボタン
ワケ録ボタン
決定ボタン
カーソルボタン
DVDボタン
HDDボタン
1 ［HDD］または［DVD］を押す
または
使用するディスクがHDDまたはDVDに切り換わります。
操作手順
• DVDに切り換えた場合は、本機にDVDディスクをセットしてください。
2 ［ディスクナビゲーション］を押す
録画されている番組がディスクナビゲーション画面に表示されます。
ボタンを押すことを表します。
• HDDに録画した番組は、［ワケ録］を押し、ワケ録ナビ画面を表示して選ぶこともできます（90ページ）。
3 ［カーソル▲▼◀▶］でタイトルを入力したい番組を選び、［べんり］を押す
（　）
参照ページ
4 ［カーソル▲▼］で「タイトル編集」を選び、［決定］を押す
5 番組のタイトルを入力する
• 文字の入力方法については、「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。
お知らせ
操作に関するお知らせです。
ご注意
操作上守っていただきたいことを記載しています。
お知らせ
● ディスクプロテクト設定されているDVDディスク（141ページ）およびファイナライズされているDVDディスク（143ページ）では、番組のタイトルを入力することはできません。
編集する
インデックス
章ごとに位置を変えてあります。
139
ページ番号

各部の名称と機能

本体

■本体前面

① **電源ボタン（17ページ）**
本体の電源を入／切します。

② **DVDボタン（47、80ページ）**
操作するドライブをDVDに切り換えます。DVDに切り換えると、DVDランプが緑色に点灯します。

③ **HDDボタン（47、80ページ）**
操作するドライブをHDDに切り換えます。HDDに切り換えると、HDDランプが青色に点灯します。

④ **レコーダー1ボタン（45ページ）**
同時録画時にレコーダー1（R1）を選びます。レコーダー1で番組を録画している場合は、ボタンの下の赤いランプが点灯します。

⑤ **レコーダー2ボタン（45ページ）**
同時録画時にレコーダー2（R2）を選びます。レコーダー2で番組を録画している場合は、ボタンの下の赤いランプが点灯します。

⑥ **ディスクトレイ（18ページ）**
DVDやCDをセットします。

⑦ **前面LED（青色イルミネーション）**
DV-DH1000D/500D/250Dのみ装備。設定メニュー（144、145ページ）の「各種設定」メニューの「前面LED点灯」の「する」／「しない」で、点灯（初期設定）／消灯できます。

⑧ **ディスクトレイ開／閉ボタン(18ページ)**
ディスクトレイを開／閉します。

⑨ **停止ボタン（47、80ページ）**
録画や再生を停止します。

⑩ **再生ボタン（80ページ）**
HDDやDVDに録画されている番組を再生します。

⑪ **録画ボタン（47ページ）**
視聴中の番組をHDDやDVDに録画します。
録画中は赤色に点灯します。

⑫ **チャンネルボタン（19ページ）**
チャンネルを切り換えます。

⑬ **外部入力3端子（『接続・設定編』29ページ）**
ビデオデッキやビデオカメラなど、外部機器のS映像・映像・音声出力端子と接続します。

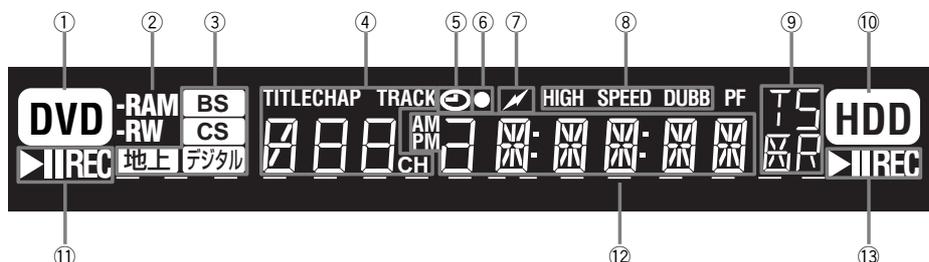
⑭ **リセットボタン（156ページ）**
本機をリセットします。リモコンや本機のボタンを押しても本機が動作しないときなどに押してください。
なお、リセットボタンを押しても、録画した番組、録画予約、チャンネル受信設定は消えません。（録画中の番組は消える場合があります。）

⑮ **本体表示窓（8ページ）**
時間やチャンネル番号など、本機の状態を表示します。

⑯ **SDメモリーカード挿入口（106、108ページ）**
SDメモリーカードを挿入します。SDメモリーカードに記録されている静止画を見ることができます。

⑰ **B-CASカード挿入口（『接続・設定編』23ページ）**
付属のB-CASカードを挿入します。

⑱ **拡張端子（DV-DH1000D/500D/250D）（107、153ページ）**
拡張機器を接続します。

■本体表示窓

① **DVD表示（47、80ページ）**
操作するドライブをDVDに切り換えると点灯します。

② **DVDディスクの種類（12、14ページ）**
使用しているDVDディスクの種類を表示します。

③ **放送の種類（19ページ）**
現在選んでいる放送の種類を表示します。

④ **番号表示**
選局中のチャンネル番号、タイトル番号、トラック番号などを表示します。

⑤ **録画予約表示（57、61ページ）**
録画予約すると ◔ が点灯します。

⑥ **録画マーク**
録画中、予約録画中に赤く点灯します。

⑦ **回線使用表示（『接続・設定編』33、69ページ）**
電話回線の使用中、ダウンロード中に点灯します。

⑧ **ダビング表示（50、111ページ）**
ダビング中に点灯します。

⑨ **録画モード（53ページ）**
選んだ録画モードを表示します。

⑩ **HDD表示（47、80ページ）**
操作するドライブをHDDに切り換えると点灯します。

⑪ **DVD状態表示**
DVDの再生中、一時停止中、録画中などの状態を表示します。

⑫ **情報表示**
録画時間や再生時間などの情報を表示します。

⑬ **HDD状態表示**
HDDの再生中、一時停止中、録画中などの状態を表示します。

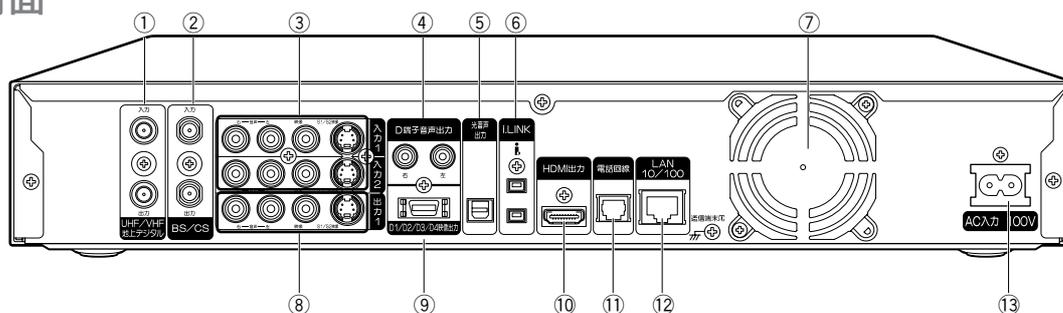
本体表示窓のメッセージ表示

本体表示窓に次のようなメッセージが表示され、本機の状態をお知らせします。

メッセージ	内容	参照ページ
dWNLd	待機中に新しいソフトウェアをダウンロードしています。	『接続・設定編』59ページ
R-1/R-2/R-3	本体とリモコンのリモコンコードが合っていないため、リモコンで本機を操作できません。本体とリモコンのリモコンコードを合わせてください。	『接続・設定編』62ページ
EXT	外部入力自動録画機能が働いています。CSチューナーなどの予約待機ができる外部機器を本機に接続し、その外部機器で録画予約した後、本機の電源を切ります。外部機器の放送開始に連動して本機に番組が録画されます。	74ページ
FRMT	DVDディスクのフォーマット中です。DVDマークが点滅している間はフォーマット中、点滅から点灯に変われば完了です。	142ページ
INIT	HDDの初期化中に点滅します。初期化が終わると点灯します。 リモコンのボタンを何か押すと、元の表示に戻ります。	146ページ
L-1/L-2/L-3/d	本機の外部入力切換をL1、L2、L3、i.LINKに切り換えたときに表示されます。	49ページ
d LINC	i.LINK対応機器からのムーブ・ダビング中に表示されます。	50、51ページ

当社製の他のハイビジョンHDD/DVDレコーダーに付属の液晶表示窓付リモコンで操作した場合、以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	内容	参照ページ
PROG	リモコンから転送したGコード予約やマニュアル予約を本機が受信しました。	60ページ 63ページ
ERR	リモコンから転送したGコード番号が正しく受信できませんでした。Gコード番号が正しいか確認してください。また、転送するときはリモコンをできるだけ揺らさないでください。	60ページ
FULL	42番組以上の録画予約をリモコンから本機に転送しました。リモコンから本機に転送できる録画予約は42番組までです。	57ページ

■本体背面

① **UHF（地上デジタル/アナログ）／VHF（地上アナログ）放送用アンテナ入出力端子**
地上デジタル、地上アナログ放送用のアンテナ線を接続します。

② **BS・110度CSデジタル放送用アンテナ入出力端子**
BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線を接続します。

③ **外部入力1端子／外部入力2端子**
ビデオデッキ、CATVホームターミナル、BS・CSチューナーなどのS映像・映像・音声出力端子と接続します。

④ **D端子音声出力**
本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子とテレビを接続したときに、テレビの音声入力端子と接続します。

⑤ **光デジタル音声出力端子**
光デジタル音声入力端子付きアンプやデコーダーと光デジタルケーブルで接続します。

⑥ **i.LINK端子（DV-DH1000D/500D）**
i.LINKコードを使用して、D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキなどのi.LINK対応機器と接続します。i.LINK対応機器と接続すると、機器間で映像、音声、制御信号を送信することができます。

⑦ **冷却用ファン**
電源を切っても回り続ける場合があります（158ページ）。

⑧ **外部出力1端子**
テレビのS映像・映像・音声入力端子と接続します。

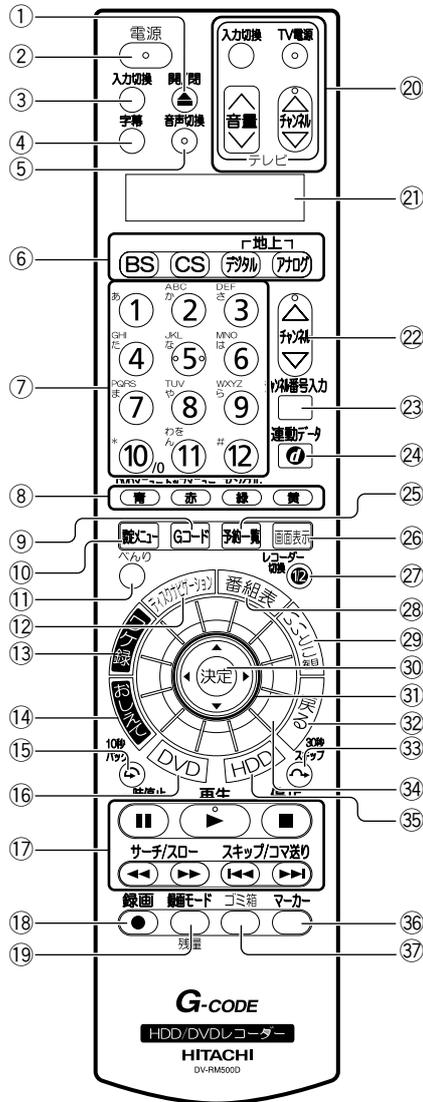
⑨ **D1/D2/D3/D4映像出力端子**
D映像入力端子のあるテレビと接続します。

⑩ **HDMI出力端子（DV-DH1000D/500D/250D）**
HDMI入力端子のあるテレビと接続します。
※Ver.1.1対応（ただしDVD-Audioには非対応）
※5.1ch音声（Dolby、DTSなど）は出力できません。

⑪ **電話回線接続端子**
電話回線と接続します。

⑫ **ネットワーク（LAN 10/100）端子**
常時接続環境のインターネット網とLANケーブルで接続します。（地上デジタル放送の双方向データ放送で使用されます。）
※パソコンから本機をコントロールすることはできません。（pingも使えません）

⑬ **電源コード差込口**
電源コードを接続します。

リモコン

① **ディスクトレイ開／閉ボタン(18ページ)**
ディスクトレイを開／閉します。

② **電源ボタン（17ページ）**
本体の電源を入／切します。

③ **入力切換ボタン（49ページ）**
本機の外部入力1.2.3を切り換えます。

④ **字幕ボタン（103ページ）**
字幕の言語を切り換えます。

⑤ **音声切換ボタン（23、102ページ）**
二重音声放送の音声言語を切り換えます。

⑥ **放送切換ボタン（BS/CS/地上デジタル/地上アナログボタン）（19ページ）**
放送の種類を切り換えます。

⑦ **数字ボタン（19、60ページ）**
チャンネル番号やGコード予約番号の入力、DVDビデオで再生するトラックの指定などを行います。

⑧ **青／DVDメニュー、赤／トップメニュー、緑／アングル、黄ボタン**
番組表やディスクナビゲーション、ワケ録ナビなどの各画面で、色名で表示される機能を選びます。
また、DVDビデオディスクの再生中に押すと、「DVDメニュー」「トップメニュー」を表示したり、アングルを切り換えることができます。

⑨ **Gコードボタン（60ページ）**
Gコード番号で予約します。

⑩ **設定メニューボタン（144ページ）**
設定メニューから、本機の各機能を設定することができます。

⑪ **べんりボタン（40ページ）**
べんりメニューを表示して、さまざまな操作を行うことができます。

⑫ **ディスクナビゲーションボタン（88ページ）**
ディスクナビゲーション画面を表示して、再生する録画番組を選びます。

⑬ **ワケ録ボタン（92ページ）**
ワケ録ナビ画面を表示して再生する録画番組を選んだり、フォルダで管理したりすることができます。

⑭ **おしえてボタン（38ページ）**
メニュー画面を表示して、ガイドに沿って番組の録画や再生、ダビング、消去の操作を行うことができます。

⑮ **10秒バックボタン（82ページ）**
録画番組の再生を約10秒前に戻します。

⑯ **DVDボタン（47、80ページ）**
DVDに切り換えます。DVDに切り換えると、本体前面のDVDランプが緑色に点灯します。

⑰ **再生操作ボタン**

一時停止ボタン（82ページ）
再生を一時停止します。

再生ボタン（80ページ）
HDDやDVDに録画されている番組を再生します。

サーチ／スローボタン（82、83ページ）
再生中の録画番組を早戻し、早送りします。一時停止中に押すと、スロー再生します。

停止ボタン（47、80ページ）
録画や再生を停止します。

スキップ／コマ送りボタン（82ページ）
再生中に ▶▶I を押すと次のチャプターにスキップし、I◀◀ を押すとチャプターの先頭に戻ります。一時停止中に押すとコマ送りします。

⑱ **録画ボタン（47ページ）**
見ている番組をHDDやDVDに録画します。

⑲ **録画モード／残量ボタン（47ページ）**
録画モードの切り換えとディスク残量の確認を行います。押すたびに録画モードが切り換わります。

⑳ **テレビ操作ボタン（『接続・設定編』36ページ）**
テレビの電源の入／切、外部入力の切換、音量調整、チャンネル選局などを行います。

㉑ **表示窓（『接続・設定編』62ページ）**
現在のリモコンコードを表示します。

㉒ **チャンネルボタン（19ページ）**
本機のチャンネルを切り換えます。

㉓ **チャンネル番号入力ボタン（19ページ）**
デジタル放送のチャンネル番号を直接入力するときに押します。

㉔ **連動データボタン（25ページ）**
データ放送を見るときに押します。

㉕ **予約一覧ボタン（77ページ）**
予約一覧画面を表示して録画予約の内容を確認したり、変更したりすることができます。

㉖ **画面表示ボタン（25、79ページ）**
いろいろな情報を表示します。

㉗ **レコーダー切換ボタン（48ページ）**
同時録画の際に、レコーダー1（R1）とレコーダー2（R2）を切り換えます。

㉘ **番組表ボタン（22、58ページ）**
デジタル放送の視聴中に番組表を表示して、見たい番組や予約したい番組を選ぶことができます。

㉙ **いいとこ観ボタン（99ページ）**
録画番組再生中に、いいとこ観の操作を始めます。

㉚ **決定ボタン**
カーソルボタンで選んだ項目を決定します。
カーソルボタン（㉛）全体を押し込むことでも、決定ボタンを押したことになります。

㉛ **カーソルボタン**
カーソルを上下左右に移動させてメニューや項目を選びます。

㉜ **戻るボタン**
1つ前の画面に戻るときや各操作を終了するときに押します。

㉝ **30秒スキップボタン（82ページ）**
録画番組の再生を約30秒先に進めます。

㉞ **ジョグリング（22、38、40、83、89、93ページ）**
上下のカーソルボタンと同様に、メニューや項目を選ぶことができます。再生時のコマ送り／コマ戻しや、サムネイル画面の切り換えもできます。
（ジョグリングのクリック感と本機の動作は一致しません。また、速く回すと動作しませんので、ゆっくり回してください。）

㉟ **HDDボタン（47、80ページ）**
HDDに切り換えます。HDDに切り換えると、HDDランプが青色に点灯します。

㊱ **マーカーボタン（128ページ）**
チャプターを設定します。

㊲ **ゴミ箱ボタン（122、123ページ）**
ゴミ箱画面を表示します。ゴミ箱画面から不要な録画番組を消去できます。

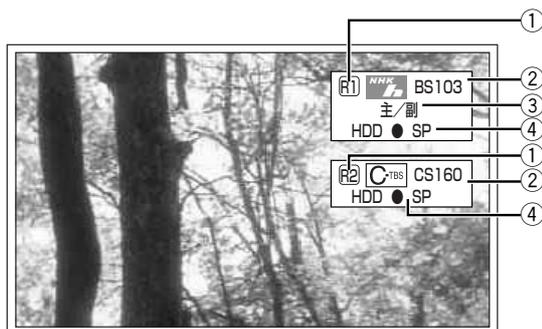
テレビ画面の表示

■ チャンネル番号の確認画面

① **選局しているレコーダーの表示**
R1：レコーダー1
R2：レコーダー2

② **放送局のロゴ、種類、チャンネル番号の表示**

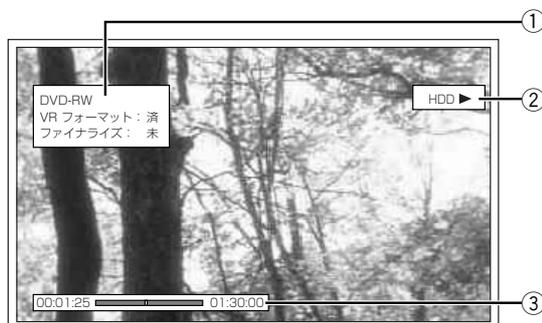
③ **音声の種類の表示**

■ 録画情報表示画面

① **録画しているレコーダーの表示**
R1：レコーダー1
R2：レコーダー2

② **録画している放送局のロゴ、種類、チャンネル番号の表示**

③ **音声の種類の表示**

④ **録画先のディスクの種類、録画マーク、録画モードの表示**

■ 再生情報表示画面

① **DVDの録画番組を再生しているときの表示**
DVDディスクの種類やフォーマット、ファイナライズ状態が表示されます。

② **HDDの録画番組を再生しているときの表示**

③ **録画番組の総再生時間に対する現在の再生時間、再生ポイントの表示**

■ その他

画面右下に表示される ✉ マーク
→放送局からお知らせが届いています。27ページをご覧になり、確認してください。

本機で使用できるディスク

<table>
<tr><th>ディスクの種類／ロゴマーク</th><th>記録フォーマット（142ページ）</th><th>録画の前の初期化（142ページ）</th><th>ディスクの特長</th></tr>
<tr><td>内蔵HDD
・DV-DH1000D：1TB（テラ）
・DV-DH500D：500GB
・DV-DH250D：250GB
・DV-DH160D：160GB</td><td>フォーマットの設定はありません。＊3</td><td>不要</td><td>録画番組の一時的な保管場所として使用します。
・TS＊5モードでは、デジタル放送のハイビジョン映像を画質の劣化なしにデジタルのまま録画できます(53ページ)。
・くり返し録画や録画した番組の消去ができます。
・デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組も録画できます(54ページ)。＊6
・年に1、2回は「HDD初期化」を行い、HDDの内容を完全に消去することをおすすめします（146ページ）。</td></tr>
<tr><td>DVD-RAM＊1
4.7GB／9.4GB (12 cm)
1.4GB／2.8GB (8 cm)
DVD RAM RAM4.7
3倍速対応ディスク
5倍速対応ディスク</td><td>VRフォーマット</td><td>不要＊4</td><td rowspan="2">くり返し録画や録画した番組の消去と編集ができます。
・デジタル放送の録画、録画した番組の消去、チャプター/プレイリストの作成など、本機の機能をフル活用できます。
・CPRM対応ディスクを使えば、デジタル放送の「1回だけ録画可能な番組」も録画できます（54ページ）。＊6
・互換性のない機器（当社製も含む）では、再生できません。
・DVD-Rではチャプター／プレイリストの作成／編集、および録画番組の消去／分割ができません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DVD-RW＊2
4.7GB (12 cm)
1.4GB (8 cm)
DVD RW
1～2倍速対応ディスク
4倍速対応ディスク
6倍速対応ディスク
DVD-R＊2
4.7GB (12 cm)
1.4GB (8 cm)
DVD R R4.7
1～8倍速対応ディスク
1～16倍速対応ディスク</td><td>VRフォーマット</td><td>必要</td></tr>
<tr><td>ビデオフォーマット</td><td>必要</td><td>録画後にファイナライズすると、対応している他のDVDプレーヤーで再生できます（143ページ）。
・一回だけ記録ができます。
・ファイナライズした後は、追加録画できません。
・デジタル放送を録画できません。
・録画した番組の消去、チャプター／プレイリストの作成などの編集機能は使用できません。</td></tr>
</table>

- 記録フォーマット：本機で録画や編集などを行えるようにDVDディスクを処理することです。
  本機のフォーマット形式には「VRフォーマット」と「ビデオフォーマット」があります。
  フォーマットすると、それまでに記録した内容はすべて消去されます。
- VRフォーマット：デジタル放送の録画やチャプター、プレイリストの作成など、本機の機能をフル活用することができます。ただし、互換性のない機器では再生できません。
- ビデオフォーマット：他のDVDプレーヤーで再生することができます（すべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません）。ただし、デジタル放送の録画やチャプター、プレイリスト作成などの編集機能を使用することができません。

本機での動作が確認されている日立マクセル製のディスクを使うことをおすすめします。それ以外は、十分に性能を発揮できない場合があります。

＊1　カートリッジつきの場合は、ディスクをカートリッジから取り出して使用してください。
＊2　1枚のディスクにビデオフォーマットとVRフォーマットを混合させることはできません。
＊3　ただし、HDDのトラブル時に「HDD初期化」で使用できるようになる場合があります。（146ページ）
＊4　規格に準拠していないDVD-RAMディスクでは初期化が必要です（142ページ）。
＊5　TSモード：デジタルハイビジョン放送およびデジタル標準テレビ放送をそのままの画質でHDDに録画します。
＊6　デジタル放送には、不正なダビングを防止し、著作権を保護するためにCPRM（一回だけ録画可能）という著作権保護技術が適用されています。

本機でできること

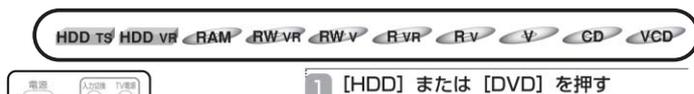
使用するディスクにより使える機能が異なります。

ディスクの種類／ロゴマーク	本書でのマーク[1]	本機の操作（○：できる　―：できない）							
		アナログ放送の録画（60ページ）	デジタル放送の録画（58ページ）	再生（80ページ）	録画番組の消去（121～124ページ）	タイトルの入力（139ページ）	プレイリストの作成（134ページ）	音声切り換え（102ページ）	HDDへのダビング（116ページ）
内蔵HDD	HDD TS（TSモード録画）	―	○	○	○	○	―	○	―
内蔵HDD	HDD VR（XP、SP、LP、EPモード録画）	○	○	○	○	○	○	○	―
DVD-RAM[*2,3] DVD RAM RAM4.7	RAM（VRフォーマット）	○	○	○	○	○	○	○	○[*6]
DVD-RW[*2,4] DVD RW	RW VR（VRフォーマット）	○	○	○	○	○	○	○	○[*6]
DVD-RW	RW V（ビデオフォーマット ファイナライズ前）	○	―	○	―	○	―	―	○
DVD-RW	V（ビデオフォーマット ファイナライズ後）	―	―	○	―	―	―	―	―
DVD-R[*2,4] DVD R R4.7	R VR（VRフォーマット）	○	○[*5]	○	―	○	―	○	○[*6]
DVD-R	R V（ビデオフォーマット ファイナライズ前）	○	―	○	―	○	―	―	○
DVD-R	V（ビデオフォーマット ファイナライズ後）	―	―	○	―	―	―	―	―

本書では、以下のようにマークを記載します。

録画した番組や市販ディスクを再生する

HDD TS　HDD VR　RAM　RW VR　RW V　R VR　R V　V　CD　VCD ― 使えるディスクの種類

1 ［HDD］または［DVD］を押す

ファイナライズとは

本機で録画したビデオフォーマットのDVD-RWとDVD-Rを、対応している他のDVDプレーヤーで再生できるように処理することです。本機でファイナライズするとDVDビデオ規格で記録され、DVDビデオとして再生できます。ファイナライズした後は、追加録画や編集はできません。本機でファイナライズしていないDVD-RWやDVD-Rを他の機器に入れると、録画や再生ができなくなることがあります。

＊1　本機はディスクによって使える機能が異なりますので、操作説明の前に使えるディスクのマークを記載しております。
＊2　本機での動作が確認されている日立マクセル製のディスクを使うことをおすすめします。それ以外は、十分に性能を発揮できない場合があります。
＊3　カートリッジつきの場合は、ディスクをカートリッジから取り出して使用してください。
＊4　1枚のディスクにビデオフォーマットとVRフォーマットを混合させることはできません。
＊5　CPRM対応ディスクを使用してください。
＊6　1回だけ録画可能な番組は除きます。

本機で再生のみできるディスク

ディスクの種類	ロゴマーク	本書でのマーク[*1]	本機の操作（○：できる　—：できない）	
			再生（80ページ）	音声切り換え（102ページ）
DVDビデオ[*2]	DVD VIDEO	V	○[*3]	○
音楽用CD[*5]	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD-DAフォーマット[*4] CD	○	—
ビデオCD[*4]	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VCD [*4]	○	—

＊1　本機はディスクによって使える機能が異なりますので、操作説明の前に使えるディスクのマークを記載しております。
＊2　ファイナライズ済みのDVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rは、DVDビデオとして再生することができます。ただし、使用するディスクの特性・汚れ・傷、またはピックアップの汚れ・結露などにより再生できない場合があります。
＊3　ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないディスクがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
＊4　音楽用CDまたはビデオCDのフォーマットで記録、ファイナライズされた音楽用CD-RとCD-RWも再生できます。ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。
＊5　CD規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。特殊ディスク再生時のみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。CD規格外ディスクを再生した場合、さまざまな不具合が発生することがあります。

■ DVDビデオソフトの表示について

DVDビデオソフトには、リージョン番号や画面サイズ、字幕種類などのマークが記載されています。
記載内容を確認してお楽しみください。

マーク	意味	機能説明
2　ALL	リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。	本機は、「2」、「ALL」、「2を含む」リージョン番号のDVDビデオソフトを再生できます。
4:3 16:9 LB 16:9 PS	DVD ビデオソフトに記録されている画面サイズを表しています。 4:3：　4:3の画面サイズで記録されています。 16:9｜LB：ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビではレターボックス画像（上下に黒い帯が入っている）を楽しめるように記録されています。 16:9｜PS：ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しめるように記録されています。	本機と接続するテレビの種類（ワイドテレビや4:3のテレビ）に応じた画面サイズが選べます。
2	字幕の種類を表しています。	リモコンの［字幕］またはべんりメニューの「DVDメニュー」（43ページ）で、お好みの字幕言語を選べます。 ・ディスクによっては［字幕］で字幕が切り換わらない場合があります。
2	DVDビデオソフトに記録されているアングル数（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像など）を表しています（マルチアングル）。	べんりメニューの「アングル」または「DVDメニュー」（43ページ）で、お好みのアングルが選べます。
5	音声トラック数や音声記録方式を表しています。	リモコンの［音声切換］で、音声を切り換えることができます。 ・ディスクによっては［音声切換］で音声が切り換わらない場合があります。

■ 本機で対応していないディスク（12～14ページに記載されている対応ディスク以外は、対応していません。）

（例）

- ・片面2層のDVD-Rディスク
- ・片面2層の+R、+RWディスク
- ・2.6GB/5.2GB DVD-RAM（12 cm）
- ・3.95GB/4.7GB DVD-R for Authoring
- ・ビデオレコーディング規格に準拠して記録されていないDVD-RAM
- ・本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R
- ・PAL方式で記録されたディスク
- ・リージョン番号が「2」、「ALL」以外のDVDビデオ
- ・MV-Disc
- ・DVD-ROM
- ・DVD-Audio
- ・CD-ROM
- ・Dual Disc（片面がCDでもう一方の面がDVDのディスク）
- ・CDV（CDビデオ）
- ・CD-G（CDグラフィクス）
- ・Photo-CD
- ・CVD
- ・SACD（スーパーオーディオCD）
- ・PD
- ・BD（ブルーレイディスク）
- ・HD DVD

など

お知らせ

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。下記のような操作を行うと不具合を生じる可能性があります。

- ● 本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで使用する。
- ● 上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる。
- ● 他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で使用する。
- ● 録画・再生中に停電が発生した場合。

ディスクの構成

DVDの構成例

DVDディスクは、「タイトル」と「チャプター」で構成されています。「タイトル」とは、例えば複数の映画が記録されているDVDビデオディスクで各映画のことを指します。「チャプター」とは、「タイトル」をさらに細かく分けたものを指します。

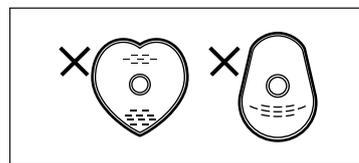
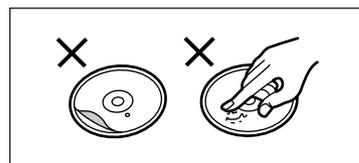
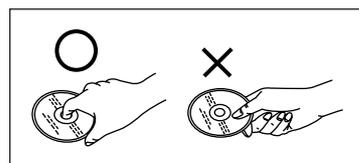
CDの構成例

ビデオCDや音楽用CDは、「トラック」（ファイル）で構成されています。「トラック」とは、例えば複数の音楽が記録されているCDで各曲を指します。

使用上の注意点

ディスク破損の原因や、機器の故障の原因になるおそれがありますので、次のことをお守りください。

- ● ディスクの録画、再生面には手を触れない。
- ● 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- ● レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールで拭かない。
- ● 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- ● 紙やシール、ラベルを貼らない。
- ● シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出したりしているディスクは使わない。
- ● ラベル面をプリンターで印刷できるタイプのディスクを使う場合は、日立マクセル製の使用を推奨します（粗悪なディスクの使用は、機器の故障の原因になることがあります）。

- ● ハート型など、特殊形状のディスクは使わない（機器の故障の原因となります）。
- ● そりの大きなディスクや割れたりひびが入ったりしているディスクは使わない。

ダブルレコーダーでできること・できないこと

本機では、2つの番組の録画（同時録画）や録画中の再生ができますが、一部の操作に以下のような制限があります。

できることの例

	レコーダー1（R1）		レコーダー2（R2）（TSモード専用）			
○	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）	をしながら、	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）			
○	HDDまたはDVDへの 録画	をしながら、	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）			※デジタル放送の同じ番組をレコーダー1（R1）とレコーダー2（R2）で録画することができます（有料放送を含む）。 1つの番組を2とおりの画質モードで録画する場合に便利です。
○	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）					
○			HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）			
○	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）	をしながら、	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）	をしながら、	HDDまたはDVDの 再生	
○	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）	をしながら、	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）	をしながら、	録画中の番組の 追いかけ再生	
○	DVDへの 録画	をしながら、	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）	をしながら、	録画中の番組の 追いかけ再生	※DVDの追いかけ再生は DVD-RAMのみ可能
○	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）	をしながら、	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）	をしながら、	DVDへの 高速ダビング	※予約録画開始より前にDVDへのダビングを開始した場合のみ可能。
○	HDDへの 録画（TSモード以外）	をしながら、			DVDへの 高速ダビング	※予約録画開始より前にDVDへのダビングを開始した場合のみ可能。
○	DVDへの 録画・ダビング	をしながら、	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）			※予約録画開始より前にDVDへのダビングを開始した場合のみ可能。
○	DVDへの レート変換ダビング	をしながら、	HDDへの ハイビジョン予約録画（TSモード）			
○	外部入力からの 録画	をしながら、	HDDへの ハイビジョン録画（TSモード）			※i.LINKからの入力をレコーダー1（R1）で録画している場合は、レコーダー2（R2）で録画できません。

※録画中の編集・番組消去はできません。HDDへ録画した番組を「ゴミ箱」に移動することはできます。

できないことの例

電源を入れる／切る

電源を入れる

はじめて本機の電源を入れたときは、簡単セットアップが自動的に起動します（『接続・設定編』38ページ）。

1 ［電源］を押す

本体の表示窓に「HELLO」のメッセージが表示され、電源が入ります。

- 「HELLO」が繰り返し表示されている間はハードディスク（HDD）の起動処理を行っています。「HELLO」の表示が消えるまでしばらくお待ちください。（約40秒以上）
- 本体にDVDディスクを入れているときは、DVDディスクの確認処理を行うため、「HELLO」の表示が消えるまでさらに時間がかかります。

2 ［TV電源］を押す

テレビの電源が入ります。

3 ［入力切換］を押して、テレビの外部入力を本機に切り換える

テレビ放送が表示されます。これでテレビ放送の視聴や録画、再生などが操作できるようになります。

- テレビ放送が表示されない場合は、［入力切換］を繰り返し押して、テレビの外部入力が本機に切り換わっているか確認してください。また、本機とテレビの接続を確認してください（『接続・設定編』25ページ）。

お知らせ

- 本取扱説明書では、「電源コードが接続されて、本機の電源が切れている状態」を『待機』（録画予約がある場合は『予約待機』）と表記しています。

お知らせ

- テレビとD映像出力端子、あるいはHDMI出力端子を接続しているのに映像がテレビに映らない場合は、本機の電源を入れた後で、リモコンの［決定］を押しながら左上の［入力切換］を押してください。

  この操作をするたびに、出力先が以下のように切り換ります。

  D映像出力端子 ⇔ HDMI出力端子

  ※同時に出力することはできません。
- 設定メニュー（144、145ページ）の「各種設定」メニューの「無操作電源オフ」を「する」に設定すると、本機を操作しないまま約2時間が経過すると自動的に本機の電源が切れます。初期設定は、「しない」です。
- 設定メニュー（144、145ページ）の「各種設定」メニューの「FL省電力」を「する」に設定すると、待機時に本体表示窓に何も表示させず、約1.2Wの電力を節約できます。「FL省電力」が「しない」（初期設定）に設定されているときは、本体表示窓に時計や録画予約マークなどが表示されます。

電源を切る

1 ［TV電源］を押す

テレビの電源が切れます。

2 ［電源］を押す

本体の表示窓に「BYE」のメッセージが表示され、電源が切れます。

- 電源を切った直後は、もう一度［電源］を押しても電源が入らない場合があります。そのような場合は、しばらく待ってからもう一度［電源］を押してください。

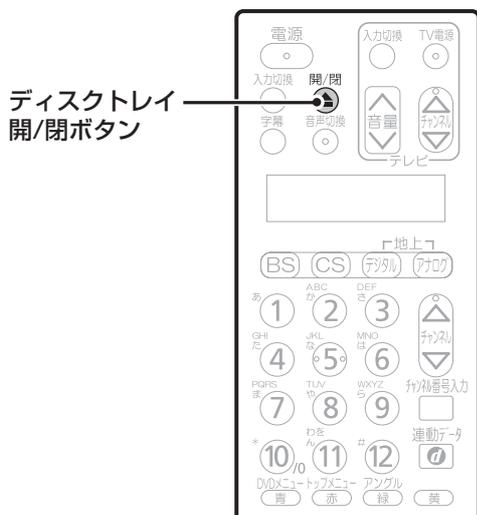
すぐに操作できるようにする（高速起動）

電源が切れている状態から、操作がすぐにできるように設定できます。「HDD-DVD設定」メニューの「高速起動」を「する」に設定してください（146ページ）。

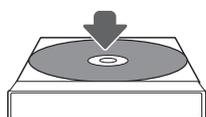
お知らせ

- 「高速起動」を「する」に設定すると、電源を切ったときの待機消費電力が増加します（165ページ）。また、内部回路が動作しているため、冷却用ファンが回転します。

ディスクの入れかた／取り出しかた

ディスクを入れる

1 [ディスクトレイ開/閉］を押す

ディスクトレイが開きます。

2 ラベル面を上にしてディスクをディスクトレイに入れる

- 両面ディスクの場合は、再生したい側の面を下にして入れてください。反対側を再生したい場合は、いったんディスクを取り出し、裏返して入れ直してください。
- DVD-RAM、DVD-Rディスクを使用する場合は、ディスクをカートリッジ、キャディー、ホルダーから取り出して使用してください。
- ディスクを取り扱うときの注意点については、「使用上の注意点」（15ページ）をご覧ください。

3 [ディスクトレイ開/閉］を押す

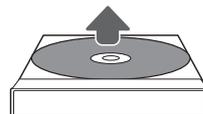
ディスクトレイが閉まり、本機がディスクを読み込みます。

- ディスクトレイを手で押して閉めないでください。

ディスクを取り出す

1 [ディスクトレイ開/閉］を押す

ディスクトレイが開きます。

2 ディスクトレイからディスクを取り出す

- ディスクを取り扱うときの注意点については、「使用上の注意点」（15ページ）をご覧ください。

3 [ディスクトレイ開/閉］を押す

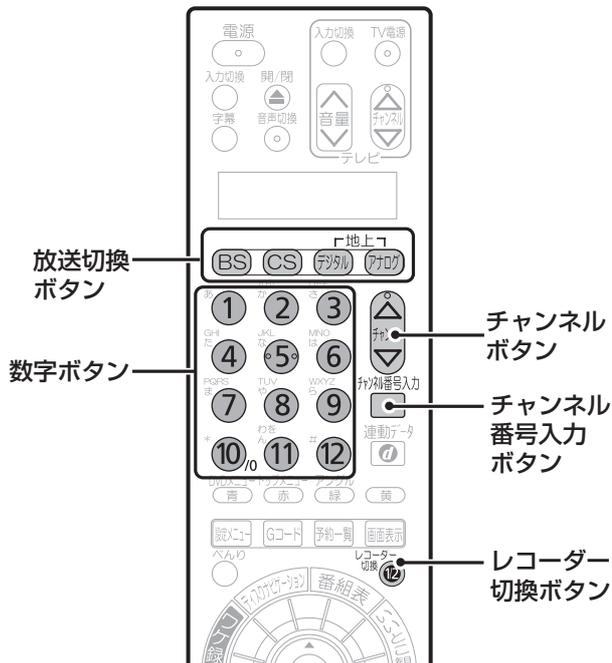
ディスクトレイが閉まります。

- ディスクトレイを手で押して閉めないでください。

ご注意

- DVDディスクへの録画は、できるだけ高温にならない場所での使用をおすすめします。
- 本機で再生できないディスクをディスクトレイに入れないでください。ディスクが取り出せなくなることがあります。ディスクが取り出せなくなった場合は、「ディスクの取り出しかた」（162ページ）をご覧ください。

お知らせ

- フォーマットされていないDVDディスクや、本機で使用できないディスクをセットした場合は、フォーマットの実行画面が表示されます。DVDディスクをフォーマットしてください（142ページ）。

放送の種類を選ぶ

1 放送切換ボタン（BS、CS、デジタル、アナログ）を押す

［BS］　　：BSデジタル放送
［CS］　　：110度CSデジタル放送
［デジタル］：地上デジタル放送
［アナログ］：地上アナログ放送

録画中に他の番組を見る

「レコーダー1」または「レコーダー2」で録画しているときに、もう一方のレコーダーに切り換えて、他の番組を見ることができます。

1 録画中に［レコーダー切換］を押し、もう一方のレコーダーを選ぶ

2 放送切換ボタン（BS、CS、デジタル、アナログ）で放送の種類を選ぶ

- 「レコーダー2」ではデジタル放送のみ選択できます。

チャンネルを選ぶ

■数字ボタンでチャンネルを選ぶ（ワンタッチ選局）

・[①]～[⑫]の数字ボタンを押す。

チャンネル1～12には主な放送局が設定されているので、数字ボタンを押すだけで簡単にチャンネルを選ぶことができます。

■［チャンネル△/▽］でチャンネルを選ぶ

・［チャンネル△/▽］を押して、チャンネルを順逆に1つずつ切り換えることもできます。

■3桁の番号を入力してチャンネルを選ぶ（ダイレクト選局）

デジタル放送の場合、3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶことができます。

1 ［チャンネル番号入力］を押す

2 数字ボタンを押して3桁のチャンネル番号を入力する

例）103チャンネルのとき

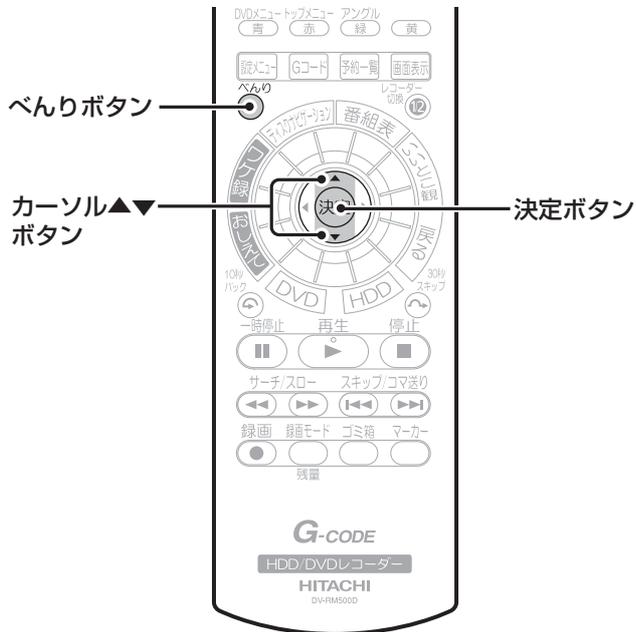
① → ⑩/0 → ③

- 間違った番号を入力した場合は、もう一度3桁のチャンネル番号を入力し直してください。
- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩/0］を押してください。
- 地上デジタル放送で3桁のチャンネル番号が重複している場合は、チャンネル番号を入力したあとに枝番入力画面が表示されます。数字ボタンを押して4桁目の枝番号を入力してください。

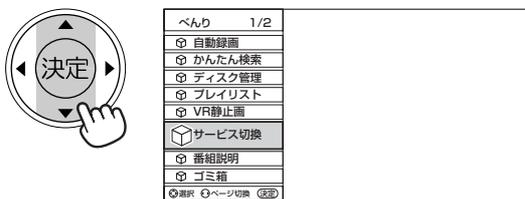
お知らせ

- 録画中はチャンネルを切り換えることができません。どちらか一方のレコーダーでのみ録画しているときは、[レコーダー切換]を押して、録画していないほうのレコーダーを選択すると、別の放送を見ることができます。
- データ放送の見えかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。

データ放送・ラジオ放送を視聴する

デジタル放送の「データ放送」、「ラジオ放送」を視聴できます。

1 ［べんり］を押す

- べんりボタンの使いかたについては「べんりボタンの使いかた」（40ページ）をご覧ください。

2 ［カーソル▲▼］で「サービス切換」を選び、［決定］を押す

- 地上デジタル放送では、ラジオ放送サービスが行われていないため、「ラジオ放送」に切り換わりません。
- べんりメニューの「サービス切換」を選ぶたびに、ラジオ放送、データ放送、テレビ放送に切り換わります。

お知らせ

- ラジオ放送には映像のない番組があります。画面には何も表示されませんので、本機の電源の切り忘れなどにご注意ください。
- データ放送、ラジオ放送は録画できません。

■お買い上げ時のBS・110度CSデジタル放送のチャンネルについて

お買い上げ時、数字ボタンには以下のチャンネルが設定されています。

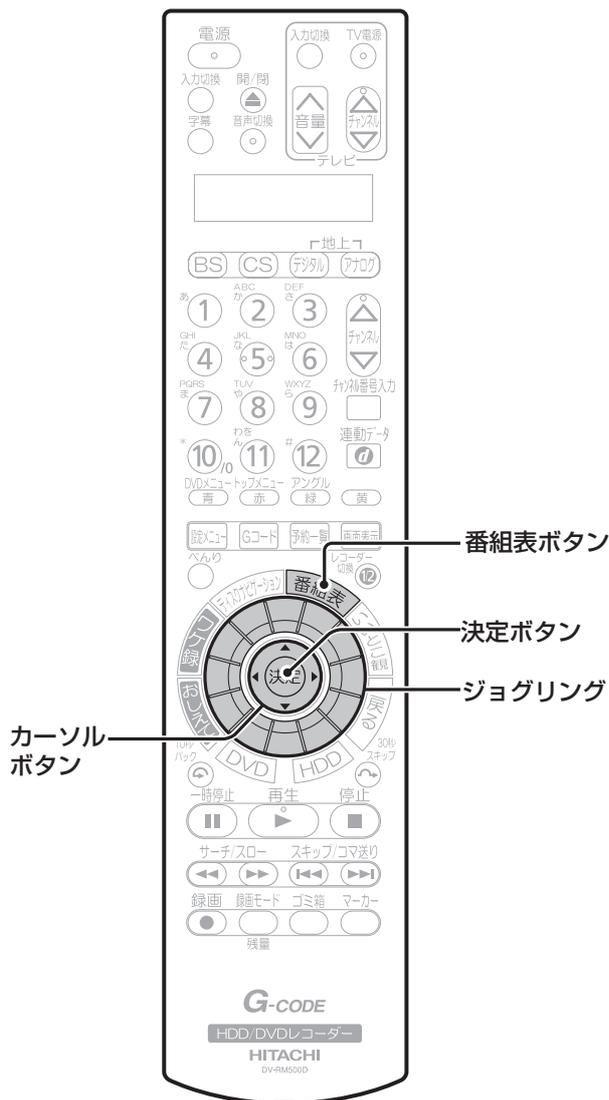
ボタン番号	BSデジタル放送	
1	101ch	NHK1（NHK BS1）
2	102ch	NHK2（NHK BS2）
3	103ch	NHKh（NHKハイビジョン）
4	141ch	BS日テレ
5	151ch	BS朝日
6	161ch	BS-i
7	171ch	BSJ（BS ジャパン）
8	181ch	BSフジ
9	191ch	WOWOW
10	200ch	スターチャンネル（スター・チャンネルBS）
11	755ch	BS朝日データ
12	910ch	ウェザーニュース

ボタン番号	110度CSデジタル放送	
1	100ch	スカパー！110 プロモ
2	160ch	C-TBS ウェルカムチャンネル・ワンテンポータル
3	–	–
4	194ch	AQステーション
5	250ch	アクティブ！スポーツチャンネル
6	110ch	ワンテンポータル
7	183ch	フジテレビ・ディノス
8	177ch	ショップチャンネル
9	991ch	SHOP&TV 5
10	990ch	生活スタイルTV
11	055ch	epチャンネル
12	–	–

- 数字ボタンに設定されているチャンネルは変更することができます（『接続・設定編』54ページ）。

番組表（EPG）からデジタル放送の番組を選ぶ

デジタル放送は、番組表（EPG）を利用して簡単に番組を選ぶことができます。番組表には、現在放送中の番組のほか、これから放送される番組が新聞のテレビ欄のように表示されます。

①放送切換ボタンの［BS］、［CS］、［デジタル］を押すと、放送の種類が切り換わります。
②BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を選局している場合、［赤／トップメニュー］を押すたびに「テレビ放送」→「ラジオ放送」→「データ放送」の順に切り換わります。
③現在選んでいる番組のチャンネル番号、放送局名、放送時間、番組名が表示されます。
④［黄］を押すと1日先の番組情報が表示されます。最大7日先の番組表まで表示できます。
［緑／アングル］を押すと1日前の番組情報に戻ります。ただし、過去の番組情報を表示することはできません。
⑤3時間分の時間帯が表示されます。
［カーソル▲▼］を押すと、番組が1つずつ切り換わります。
［チャンネル△▽］を押すと、3時間ずつ番組表画面が切り換わります。
録画予約している番組がある時間帯は赤色のバーが表示されます。
⑥放送時間が短いために番組名を表示できない場合は、水色で表示されます。カーソルを合わせて［カーソル ▲▼ ］を押すと、番組名が順番に表示されます。
⑦サイマル放送（複数のチャンネルで同じ番組を放送すること）の場合は、水色で表示されます。カーソルを合わせて［カーソル◀▶］を押すと、チャンネルを切り換えることができます。
⑧[カーソル▲▼◀▶ ］で番組を選ぶと拡大表示されます。

1 デジタル放送の視聴中に[番組表]を押す

視聴中のデジタル放送の種類、サービスに対応した番組表が表示されます。

- 地上デジタル放送を受信設定していないときはスキップされます。スキップされているため、番組表は表示できません。

2 [カーソル▲▼◀▶]を押して番組を選ぶ

- ジョグリングを回すと［カーソル ▲▼］と同様に番組を選ぶことができます。
- 現在の時間帯を選んで［決定］を押すと、選んでいる番組の情報が表示されます。画面上に「選局」ボタンが黄色で表示されている場合は、もう一度［決定］を押すと、その番組が選局されます。
- これから放送される番組を選んで［決定］を押すと、録画予約画面が表示されます。録画予約については、「番組表（EPG）から予約する」（58ページ）をご覧ください。

3 ［番組表］を押す

番組表が消えます。

お知らせ

- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このような場合は、実際の放送内容と番組表の内容が一致しないことがあります。
- 番組表には本機内部に事前に受信した内容が表示されます。お買い上げ時や電源を入れたときなどは、しばらくなにも表示されないことがあります。
- 番組によっては、前の番組の終了時間と次の番組の開始時間が1分間重なって表示される場合があります。これは、秒単位を繰り上げまたは繰り下げ処理して表示しているためで、故障ではありません。
- 番組情報が送られない場合もあります。このような場合、番組が放送されていても番組表では選べません。「チャンネルを選ぶ」（19ページ）でチャンネルを選んでください。
- 「CHスキップ設定」（『接続・設定編』56ページ）でスキップするように設定したチャンネルは番組表に表示されません。
- 地上アナログ放送では番組表を表示することはできません。

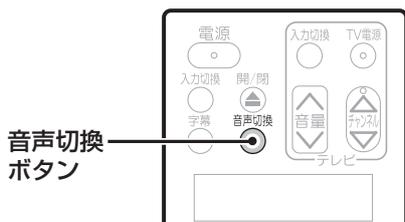
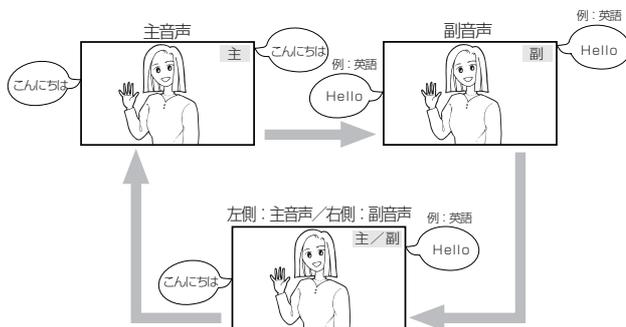
音声や映像を切り換える

複数の音声や映像がある放送のときは、音声や映像を切り換えることができます。

音声を切り換える

放送中の番組が二重音声放送のときは、音声を切り換えることができます。
（マルチ音声の場合は、右記「デジタル放送の音声・映像・字幕を切り換える」をご覧ください。）

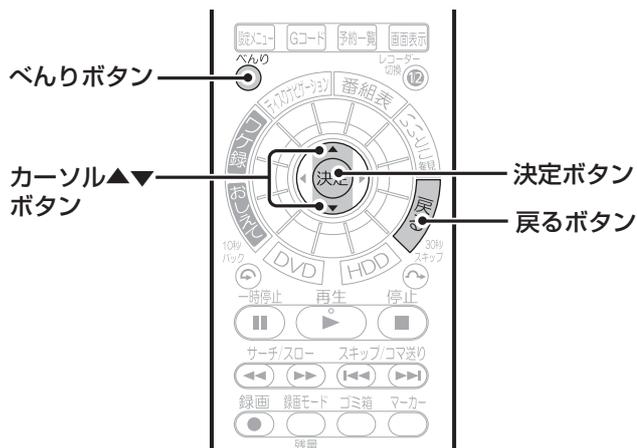
■二重音声放送のとき

1 ［音声切換］を押す

［音声切換］を押すたびに、音声が切り換わります。

■ デジタル放送を視聴するときの音声出力は

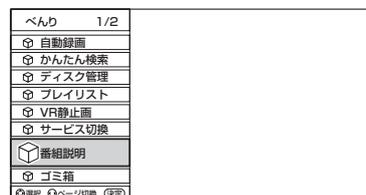
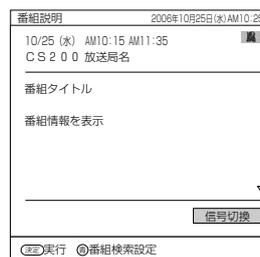
「各種設定」-「デジタル音声出力」の設定（147ページ）	HDMI端子（デジタル）	光出力端子（デジタル）	音声出力端子（アナログ）
PCM	PCM（L/R 2チャンネルステレオ）で出力されます。＊1	PCM（L/R 2チャンネルステレオ）で出力されます。＊1	L/R 2チャンネルステレオで出力されます。＊1
AAC	出力されません。	放送、録画状態のまま、AAC＊2やPCMで出力されます。＊3	

＊1　元の音声がモノラルの場合はモノラルで出力されます。
＊2　接続する機器（アンプなど）がAACに対応している必要があります。
＊3　二重音声放送（二カ国語放送）の音声切り換えはできません。

デジタル放送の音声・映像・字幕を切り換える

複数の映像や音声（マルチ音声）、字幕があるデジタル放送の番組では、番組説明画面で映像、音声、字幕を切り換えることができます。映像、音声、字幕の内容は番組によって異なります。また、切り換えた映像、音声、字幕が有料な場合もあります。

1 デジタル放送の視聴中に［べんり］を押す

• べんりボタンの詳細については「べんりボタンの使いかた」（40ページ）をご覧ください。

2 ［カーソル ▲▼ ］で「番組説明」を選び、［決定］を押す

3 ［決定］を押す

音声や映像を切り換える（つづき）

4 [カーソル▲▼]で設定する項目を選び、[決定]を押す

番組説明　2006年10月25日(水)AM10:25

10/25（水） AM10:15 AM11:35
CS２００ 放送局名

映像　①主映像
音声　①ステレオ音声
字幕　なし

⊕選択　⊙決定　⊙戻る

設定項目	内　容
映像	複数の映像がある場合、映像を切り換えることができます。マルチビュー放送の場合、映像の切り換えと同時に音声も自動で切り換わります。
音声	複数の音声がある場合、音声を切り換えることができます。
字幕	複数の字幕がある場合、字幕言語を切り換えることができます。「なし」を選ぶと字幕は表示されません。

5 [カーソル▲▼]で設定する内容を選び、[決定]を押す

番組説明　2006年10月25日(水)AM10:25

10/25（水） AM10:15 AM11:35
CS２００ 放送局名

映像　①主映像
音声　①ステレオ音声
字幕　なし

■①ステレオ音声
■②ステレオ（英語）

⊕設定　⊙設定終了

- 設定できる映像、音声、字幕の名称が放送局側から送られている場合は、その名称が表示されます。
- 切り換えた映像、音声、字幕が有料の場合は、番組購入画面が表示されます。有料番組の購入については、「有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入する」（35ページ）をご覧ください。

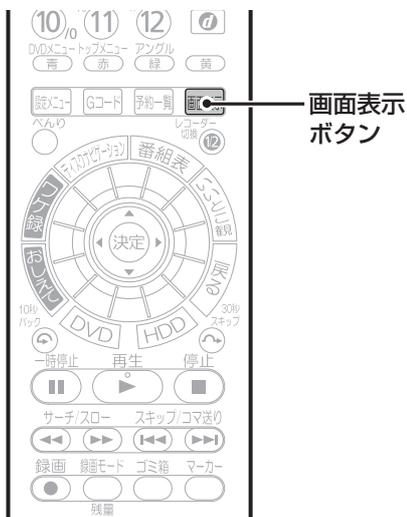
6 設定が終了したら、[戻る]を2回押す

信号切換画面が消え、テレビ放送画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時、字幕は「なし」に設定されています。
- デジタル放送をHDDにTSモードで録画すると、字幕を録画できます。

チャンネル番号を確認する

現在見ている番組のチャンネル番号を確認できます。

1 番組の視聴中に［画面表示］を押す

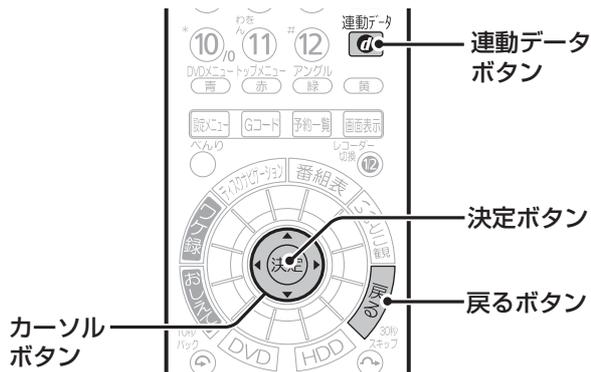
視聴中の番組のチャンネル番号が表示されます。約6秒で自動的に消えます。

① 選局しているレコーダーの表示
　R1：レコーダー1
　R2：レコーダー2
② 放送局のロゴ、種類、チャンネル番号の表示
③ 音声の種類の表示

お知らせ

● デジタル放送でサラウンド・ステレオ音声の番組視聴中は、音声モードのステレオ欄に「5.1ch」、「3/1ch」、「3/2ch」のいずれかが表示されます。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従って操作することで、いろいろな情報を見たり、サービスを利用したりすることができます。

1 デジタル放送の視聴中に、［連動データ］を押す

データ放送画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼◀▶ ］で項目を選び、［決定］を押す

選んだ項目に従って、いろいろな情報が表示されます。

• 項目の表示内容や選択方法、操作方法などは番組によって異なります。画面の指示に従って操作してください。

3 画面の指示に従ってデータ放送を終了する

• 画面にデータ放送の終了方法が表示されない場合は、［連動データ］を押すとテレビ放送の画面に戻ります。

お知らせ

● データ放送は、チャンネルや画面内容によって、表示されるまでにかなり時間がかかる場合があります（約2分）が、故障ではありません。
● チャンネルを切り換えた直後は［連動データ］を押しても、データ放送に切り換わらない場合があります。その際は、しばらくしてからもう一度［連動データ］を押して、データ放送画面を表示させてください。
● データ放送では、本機に接続した電話回線やネットワーク（LAN）端子を使って通信を行う場合があります。通信中は［電源］以外の操作ができなくなることがあります。
● テレビ放送以外の画面を表示していると、データ放送を見ることができません。テレビ放送画面を表示させてから［連動データ］を押してください。
● 下記のDVDディスクを入れてDVDモードにした場合、［連動データ］を押しても、データ放送に切り換わりません。ディスクを取り出すか、HDDモードに切り換えてください。
　・DVD-RW(ビデオフォーマット、ファイナライズ済み)
　・DVD-R（ビデオフォーマット、ファイナライズ済み）
　・DVDビデオ

番組情報を見る（番組説明）

デジタル放送の番組視聴中に、番組情報を表示して確認することができます。

1 デジタル放送の視聴中に［べんり］を押す

- べんりボタンの詳細については「べんりボタンの使いかた」（40ページ）をご覧ください。

2 ［カーソル▲▼］で「番組説明」を選び、［決定］を押す

3 番組情報を確認する

- 番組情報欄に「△／▽」が表示されているときは、1画面に表示しきれない番組説明があります。［カーソル▲▼］で番組情報をスクロールさせてください。

4 番組情報を確認したら、［戻る］を押す

番組情報が消えます。

お知らせ

● 番組説明を含む番組を録画した後で、再生中に［べんり］を押して番組説明を表示することができます。ただし、説明の内容は半分しか記録されていません。

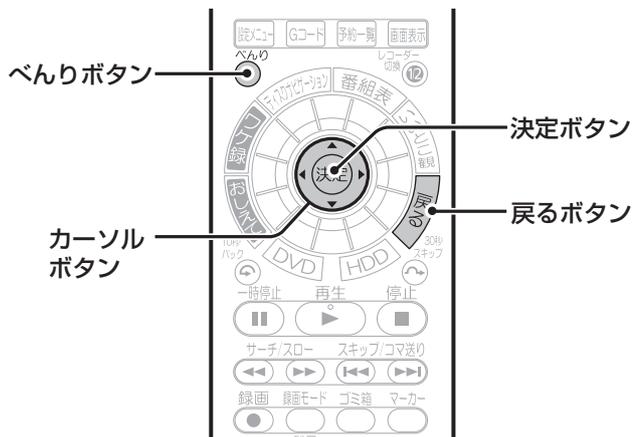
放送局から送られてくるお知らせを確認する

デジタル放送の放送局から「メール」や「ボード」、「ご連絡」などのお知らせが送られてくることがあります。（画面右下に✉マークが表示されます。）

種類	内　容
メール	デジタル放送の放送局からお客様へ送られるメッセージです。メールを受信すると、画面下側に「メールがあります」というメッセージが表示されます。
ボード	CS放送局からのお知らせです。
ご連絡	電話回線の接続異常やソフトウェアを書き換えるためのダウンロード情報などのお知らせです。

1 ［べんり］を押す

• べんりボタンの詳細については「べんりボタンの使いかた」（40ページ）をご覧ください。

2 ［カーソル◀▶］でべんりメニューの2ページ目を表示し、［カーソル▲▼］で「メール・ボード」を選び、［決定］を押す

メール·ボード画面が表示されます。

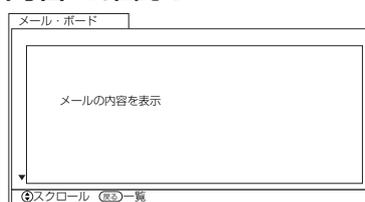
3 ［カーソル▲▼］で見たいお知らせを選び、［決定］を押す

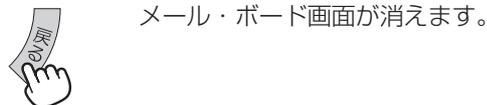
• 内容を確認していない「メール」は、「メール（未読）」と表示されます。

4 内容を確認する

メール・ボード

メールの内容を表示

スクロール　戻る 一覧

• お知らせの内容が1画面に表示しきれない場合は、［カーソル▲▼］でお知らせの内容をスクロールさせてください。

5 ［戻る］を押す

メール・ボード画面が消えます。

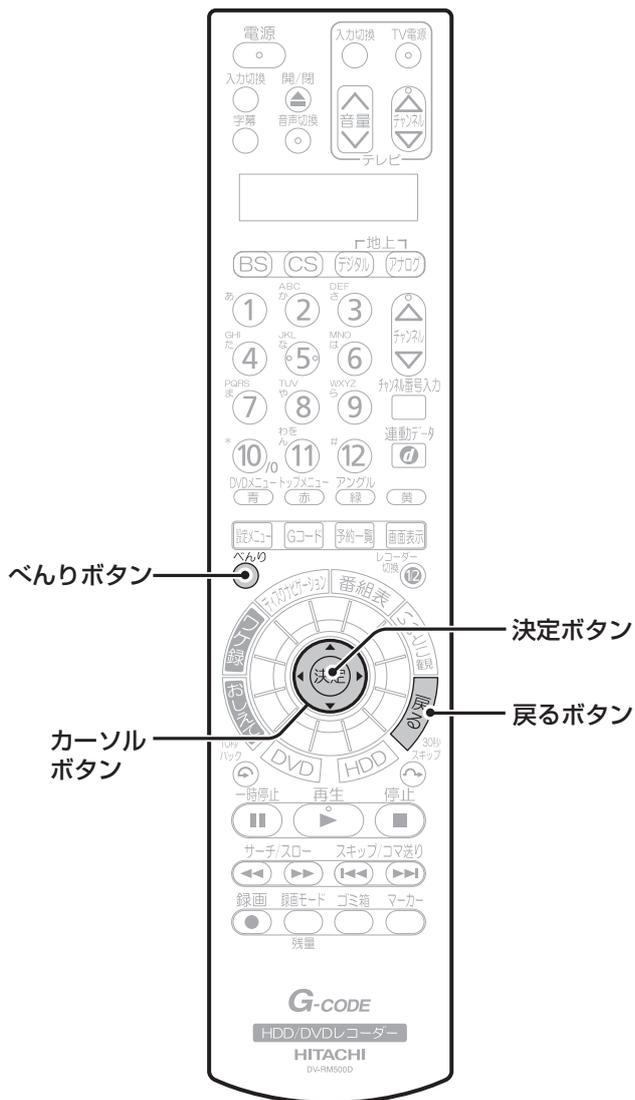
お知らせ

● 本機にB-CAS カードが挿入されていないと、メールは受信できません。

● 放送局から送られてくるメールは31通まで記録されます。31通を超えた場合は、古いメールから自動的に消去されます。

● 地上デジタル放送の場合「放送局が開局します」という趣旨のメールが届く場合がありますが、このメールは広域で送信されているため、他の地域で放送局が開設した場合でも（お住まいの地域で受信できない放送局でも）メールが届く場合があります。
この場合、受信設定を消去（初期化）して、チャンネルの初期スキャンや再スキャンを行っても、受信できるチャンネルは増えません。

B-CASカードの情報を見る

デジタル放送の契約内容を問い合わせるときなどに、B-CASカードの種別やIDなどが必要となります。このような場合に、B-CASカードの情報を表示して確認することができます。また、B-CASカードが正しく動作しているかテストすることもできます。

1 ［べんり］を押す

- べんりボタンの詳細については「べんりボタンの使いかた」（40ページ）をご覧ください。

2 ［カーソル◀▶］でべんりメニューの2ページ目を表示し、［カーソル▲▼］で「カード情報」を選び、［決定］を押す

3 B-CASカードの情報を確認する

カード情報

カード識別　：ＢＡ０３
カードＩＤ　：1111-2222-3333-4444-5555
グループＩＤ：

1010-1010/2020-2020　カードテスト
3030-3030
決定 実行　戻る 終了

- カードテストを行う場合は、［決定］を押してください。
  - B-CASカードが正常に動作している場合は、「正常に動作しています」と表示されます。
  - 正常に動作していない場合は、B-CASカードが本機に正しく挿入されているか確認してください（『接続・設定編』23ページ）。
- 「グループID」は表示されないことがあります。
- 「カードテスト」の左側に表示されている24ケタの数字は、本機の保守用の番号で、B-CASカード情報ではありません。

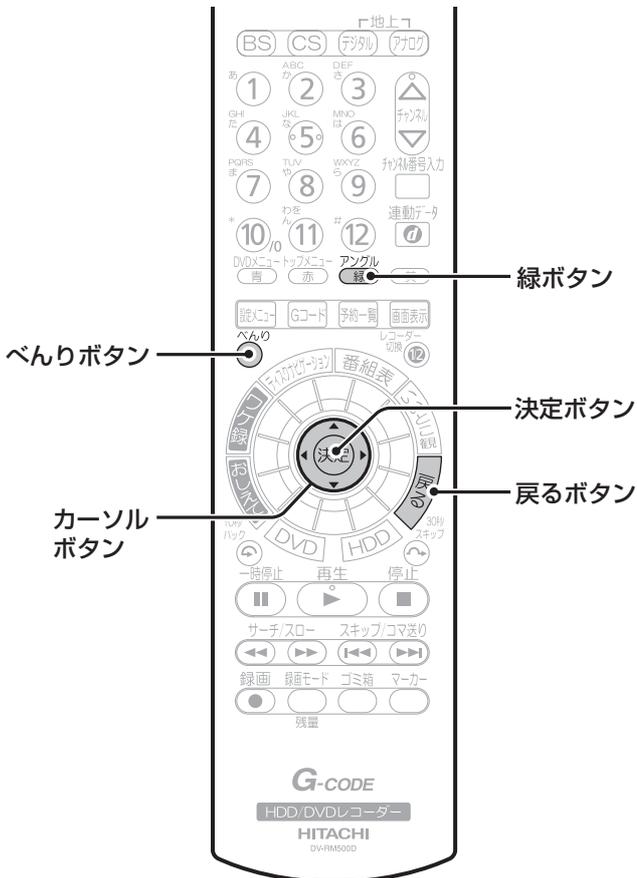
4 ［戻る］を押す

カード情報画面が消えます。

お好みのジャンルやキーワードから見たい番組を検索する

デジタル放送の視聴中に、ジャンルやキーワードから番組を検索できます。特定のジャンルのスポーツやお好みのアーティストの番組を見逃したくないときなどに便利です。

あらかじめ設定されている条件で検索する

あらかじめ用意されている映画、ドラマ、スポーツ、音楽の4つのグループには、「映画」、「ドラマ」、「スポーツ」、「音楽」のジャンルがそれぞれ設定されています。対象のジャンルを選ぶだけで、そのジャンルに当てはまる番組が一覧で表示され、そこから見たい番組や録画したい番組を直接選ぶことができます。必要に応じて、ジャンルを追加して分類することもできます（30ページ）。

お知らせ

● 番組表データの受信が完了しないと、かんたん検索はできません。番組表データを完全に受信するには、BS／CSの任意の1局をそれぞれ約10分間視聴し、さらに受信できる地上デジタル放送のすべてのチャンネルをそれぞれ10分以上視聴するか、または157ページの「番組表（EPG）が表示されない」の処置を行ってください。

1 デジタル放送の視聴中に［べんり］を押す

- べんりボタンの詳細については「べんりボタンの使いかた」（40ページ）をご覧ください。

2 ［カーソル ▲▼］で「かんたん検索」を選び、［決定］を押す

3 ［カーソル ◀▶］でグループを選び、［カーソル ▲▼］で見たい番組を選ぶ

- ［決定］を押すと、選んでいる番組の番組説明が表示されます。現在放送中の番組は選局、これから放送される番組は録画予約になります。
- ［緑／アングル］を押すたびに、番組の表示順が日付順、チャンネル番号順に交互に切り換わります。

4 ［戻る］を押す

番組検索画面が消え、元の番組が表示されます。

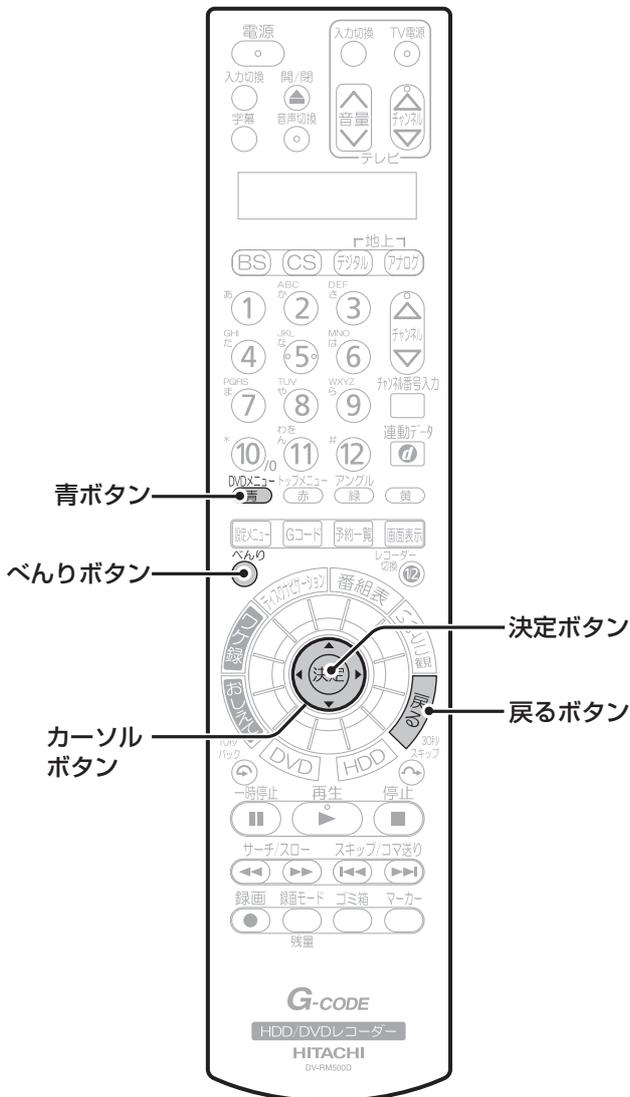
お好みのジャンルやキーワードから見たい番組を検索する（つづき）

検索条件を設定する

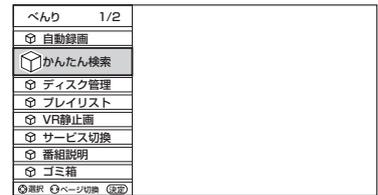
グループごとにお好みのジャンルやキーワードなどの検索条件を設定できます。

●最大7個までのジャンル・キーワードを設定できます。

●あらかじめ検索条件が設定されているグループ（映画、ドラマ、スポーツ、音楽）の設定も自由に変更できます。

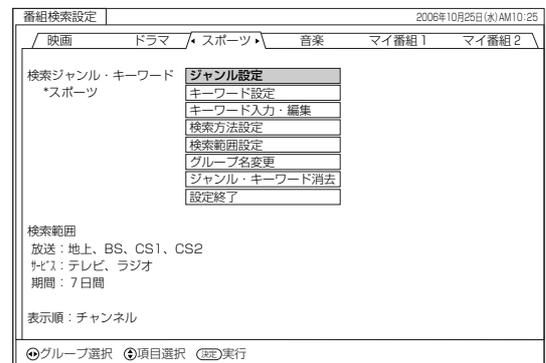
●検索条件が1つも設定されていないグループ（マイ登録1、マイ登録2）は、検索条件を新たに設定して利用できます。

1 デジタル放送の視聴中に［べんり］を押す

• べんりボタンの詳細については「べんりボタンの使いかた」（40ページ）をご覧ください。

2 ［カーソル▲▼］で「かんたん検索」を選び、［決定］を押す

3 ［青／DVDメニュー］を押す

番組検索設定画面が表示されます。

• 番組説明の表示中でも同様の操作ができます。

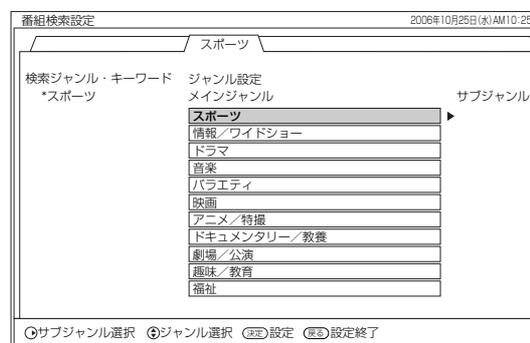
4 ［カーソル ◀▶］で検索条件を設定するグループを選び、［カーソル▲▼］で設定項目を選び、［決定］を押す

設定項目	内　容
ジャンル設定（31ページ）	検索する番組のジャンルをメインジャンルおよびサブジャンルから設定します。
キーワード設定（32ページ）	現在選ばれている番組名および番組説明から任意の部分を選び、キーワードとして設定します。
キーワード入力・編集（32ページ）	番組を検索するためのキーワードを入力または変更します。
検索方法設定（33ページ）	設定されたジャンルおよびキーワードのすべてを含む番組を検索するか、いずれかを含む番組を検索するかを設定します。
検索範囲設定（33ページ）	検索する放送種類、放送サービス、期間を設定します。
グループ名変更（34ページ）	各グループの名前を変更します。
ジャンル・キーワード消去（34ページ）	設定したジャンルおよびキーワードを消去します。

5 各項目の設定が終了したら、［カーソル▲▼］で「設定終了」を選び、［決定］を押す

・番組検索設定画面が消え、番組検索画面に戻ります。
　番組検索画面には、設定した条件に該当する番組が表示されます。
・［戻る］を押しても、番組検索画面に戻ります。

■ジャンルを設定する

1 番組検索設定画面（30ページ、手順4）で「ジャンル設定」を選ぶ

2 ［カーソル▲▼］でメインジャンルからお好みのジャンルを選び、［決定］を押す

- 選んだジャンルは、画面左側の検索内容欄に追加され、「＊」が表示されます。
- ジャンルを絞り込みたい場合は、［カーソル◀▶］を押してサブジャンルに切り換えてからジャンルを選んでください。
- さらにジャンルを追加設定したい場合は、同様の操作を繰り返します。

3 ジャンルの設定が終了したら、［戻る］を押す

ジャンル設定画面が消え、番組検索設定画面に戻ります。

■番組情報からキーワードを設定する

1 番組検索設定画面（30ページ、手順4）で「キーワード設定」を選ぶ

2 ［決定］を押す

番組情報欄にカーソルが表示され、キーワードを選択できる状態になります。

3 ［カーソル▲▼◀▶］でキーワードの開始位置を選び、［決定］を押す

4 ［カーソル▲▼◀▶］でキーワードの終了位置を選び、［決定］を押す

開始位置と終了位置の間の部分がキーワードとして設定され、画面左側の検索内容欄に追加されます。

- さらにキーワードを設定したい場合は、手順2～4を繰り返します。

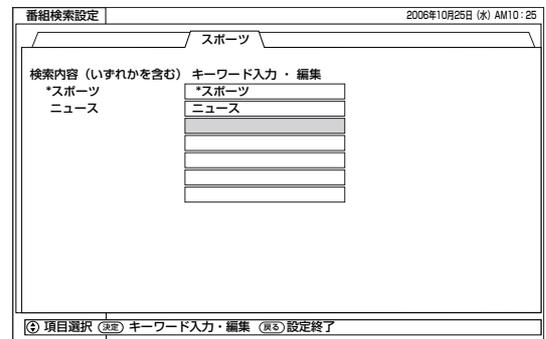
5 キーワードの設定が終了したら、［戻る］を押す

キーワード設定画面が消え、番組検索設定画面に戻ります。

■キーワードを入力する

1 番組検索設定画面（30ページ、手順4）で「キーワード入力・編集」を選ぶ

キーワード入力・編集画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］でキーワード入力欄を選び、［決定］を押す

- すでに設定されているキーワードを変更したい場合は、変更したいキーワードの入力欄を選んでください。
- ジャンルは変更できません。

3 キーワードを入力する

文字の入力方法については、「文字を入力する」（148ページ）をご覧ください。

入力したキーワードが画面左側の検索内容欄に追加されます。

- さらにキーワードを追加入力したい場合は、手順2～3を繰り返します。

4 キーワードの入力が終了したら、［戻る］を押す

キーワード入力画面が消え、番組検索設定画面に戻ります。

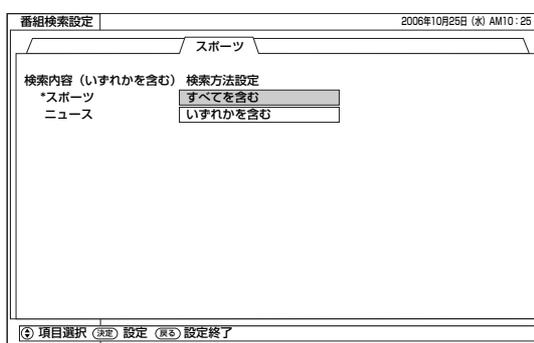
お知らせ

- 入力したキーワードにスペースが含まれる場合は、正しく検索できないことがあります。このような場合は、番組表のタイトル表示どおりに入力するか、入力文字数を減らしてから、再度検索してください。

■検索方法を設定する

1 番組検索設定画面（30ページ、手順4）で「検索方法設定」を選ぶ

検索方法設定画面が表示されます。

2 [カーソル ▲▼] で検索方法を選び、[決定] を押す

設定項目	内　容
すべてを含む	設定されたキーワードおよびジャンルをすべて含む番組を検索します（AND検索）。
いずれかを含む	設定されたキーワードまたはジャンルのいずれかを含む番組を検索します（OR検索）。

3 検索方法の設定が終了したら、[戻る] を押す

検索方法設定画面が消え、番組検索設定画面に戻ります。

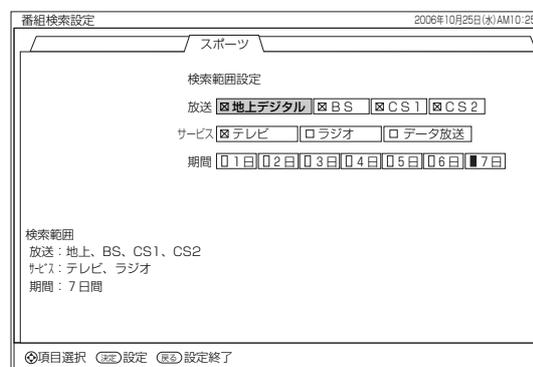
■検索範囲を設定する

1 番組検索設定画面（30ページ、手順4）で「検索範囲設定」を選ぶ

検索範囲設定画面が表示されます。

2 [カーソル ▲▼◀▶] で項目を選び、[決定] を押す

「放送」および「サービス」は、複数の項目を選ぶことができます。[決定] を押すたびに選択（☒）と解除（☐）が切り換わります。

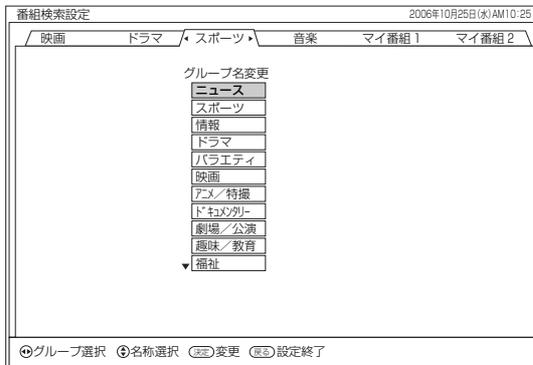
「期間」は、1つだけ選ぶことができます。項目を選ぶと▯が▮に変わります。

3 検索範囲の設定が終了したら、[戻る] を押す

検索範囲設定画面が消え、番組検索設定画面に戻ります。

■グループ名を変更する

1　番組検索設定画面（30ページ、手順4）で「グループ名変更」を選ぶ

グループ名変更画面が表示されます。

2　[カーソル▲▼] でお好みの名前を選び、[決定] を押す

- グループ名を変更し直したい場合は、同様の操作を繰り返します。

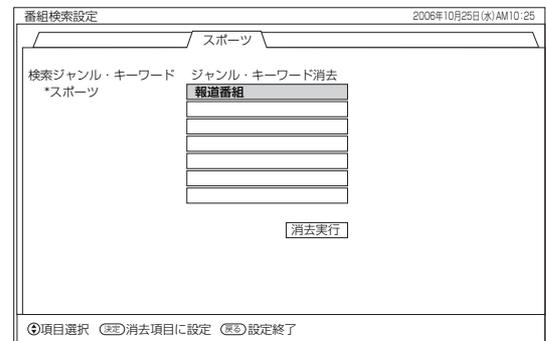
3　グループ名の変更が終了したら、[戻る] を押す

グループ名変更画面が消え、番組検索設定画面に戻ります。

■設定したジャンルまたはキーワードを消去する

1　番組検索設定画面（30ページ、手順4）で「ジャンル・キーワード消去」を選ぶ

ジャンル・キーワード消去画面が表示されます。

2　[カーソル▲▼] で消去するジャンルまたはキーワードを選び、[決定] を押す

- 選んだジャンルまたはキーワードの右側に「消去する」と表示されます。
- さらにジャンルまたはキーワードを消去したい場合は、同様の操作を繰り返します。
- もう一度 [決定] を押すと、消去が取り消されます。

3　[カーソル▲▼] で「消去実行」を選び、[決定] を押す

ジャンル・キーワード消去画面が消え、番組検索設定画面に戻ります。

有料番組(ペイ・パー・ビュー)を購入する

ペイ・パー・ビューを購入する

BS、CSデジタル放送には、無料と有料の番組があります。さらに有料の番組には、事前に申し込みが必要な契約番組と、画面上で購入できる有料番組（ペイ・パー・ビュー）があります。

1 番組表（21ページ）でペイ・パー・ビューを選び、[決定]を押す

番組購入画面が表示されます。

- 番組購入画面には、購入する番組の金額やコピー情報などが表示されます。
- 購入前に数分間番組の内容を見ることができる番組があります。時間は番組によって異なります。

2 [カーソル ◀▶ ］で購入項目を選び、[決定］を押す

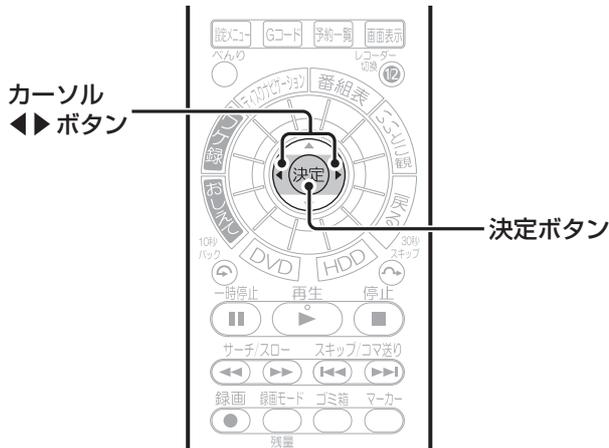
番組購入　2006年10月1日(日)AM8 :20

10/1（日） AM10:15 AM11:35
ＣＳ２００ 放送局名

番組タイトル

有料番組です。視聴には購入操作が必要です
視聴購入： 200 円、録画購入： 300 円
アナログコピー可、デジタル１回コピー

視聴購入 ｜ 録画購入 ｜ 購入しない

◀▶選択 決定実行

設定項目	内　容
購入する	番組を購入します。ただし、コピーガードによって録画できない場合があります。
購入しない	番組を購入しません。
視聴購入	番組を購入します。番組を見ることはできますが、コピーガードによって録画できません。
録画購入	番組を購入します。番組を見ることも、録画することもできます。

● 表示される購入項目は、番組によって異なります。

3 [カーソル ◀▶ ］で「はい」を選び、[決定］を押す

番組が購入されます。

- 購入しないときは、「いいえ」を選んで[決定]ボタンを押します。
- 番組を購入した時点で料金が課金されます。番組を観ていなくても料金が請求されますのでご注意ください。

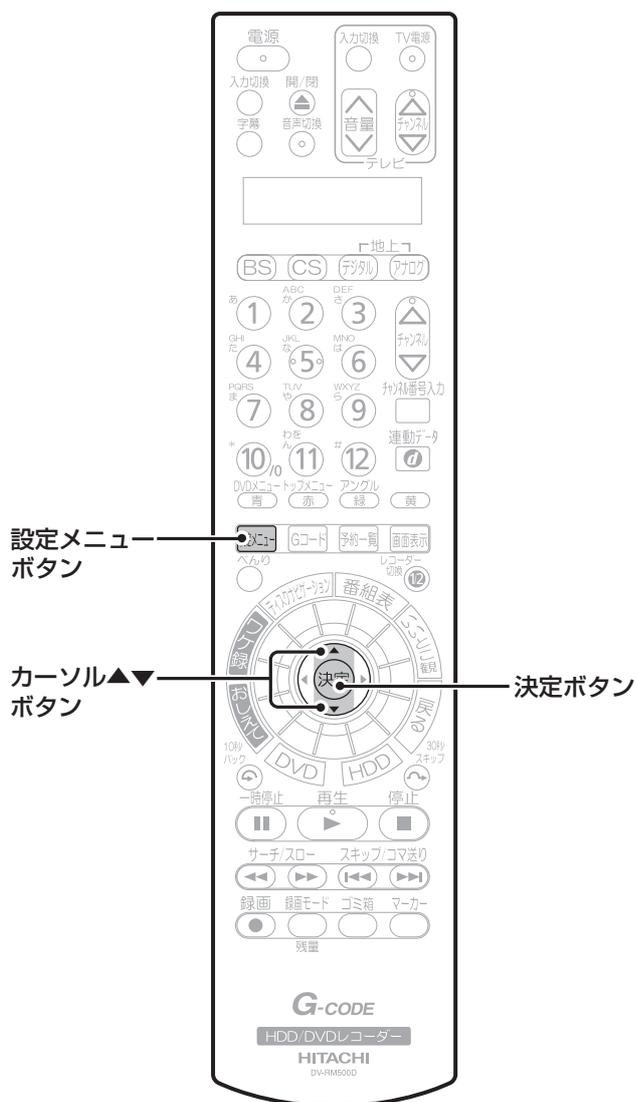
■ コピーガードについて

BS・CS放送番組には、録画できないようにコピーガードがかかっている番組があります。コピーガードがかかっている番組は正常に録画できません。

お知らせ

- 購入した番組を観ているときでも、他の番組に切り換えたり、購入した番組に戻すことができます。
- 追加購入が必要な場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 購入情報を番組のカスタマーセンターへ送信できなかった場合は、番組を購入できません。そのような場合は、「ペイ・パー・ビューを購入できなかったときは」（36ページ）をご覧になり、購入情報を手動で送信してください。
- ペイ・パー・ビュー番組は、放送されていない場合もあります。

■ペイ・パー・ビューを購入できなかったときは

通常、購入情報は電話回線を通じて購入した番組のカスタマーセンターへ自動的に送信されます。何らかの理由で購入情報を自動送信できなかった場合は、手動で購入情報を送信してください。

お知らせ

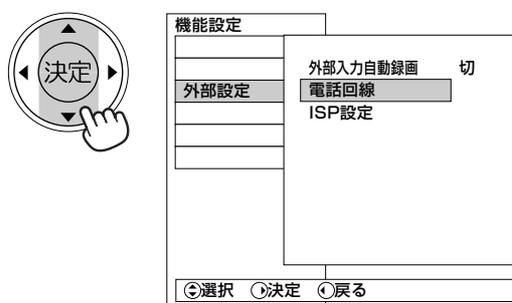
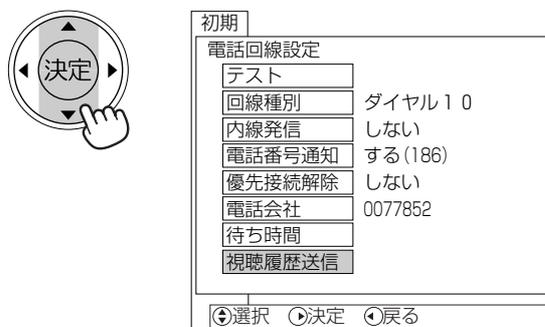
- B-CASカードが挿入されていないと、購入情報は送信できません。

1 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼] で「外部設定」を選び、[決定] を押す

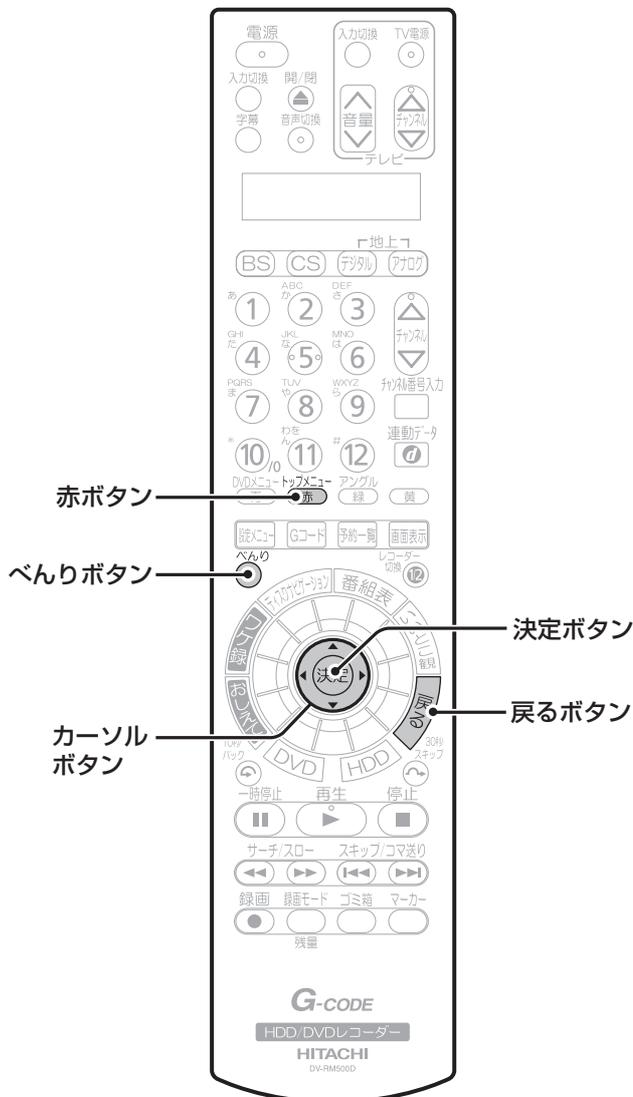
外部設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼] で「電話回線」を選び、[決定] を押す

4 [カーソル▲▼] で「視聴履歴送信」を選び、[決定] を押す

- 購入情報が送信され、外部設定メニュー画面に戻ります。購入情報の送信が終了するまで約1分かかります。
- 購入情報の送信が終了すると、メールが送られてきます。内容を確認してください（27ページ）。

5 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が消えます。

ペイ・パー・ビューの情報を確認する

チャンネルや料金など、購入したペイ･パー･ビューの情報を10番組まで記録することができます。

1 [べんり]を押す

• べんりボタンの詳細については「べんりボタンの使いかた」(40ページ）をご覧ください。

2 [カーソル◀▶］でべんりメニューの2ページ目を表示し、[カーソル▲▼］で「利用状況」を選び、[決定］を押す

3 ペイ・パー・ビューの情報を確認する

• 情報を削除する場合は、[赤／トップメニュー]を押し、「はい」を選んで[決定]を押してください。すべての情報が削除されます。

4 [戻る]を押す

利用状況画面が消えます。

お知らせ

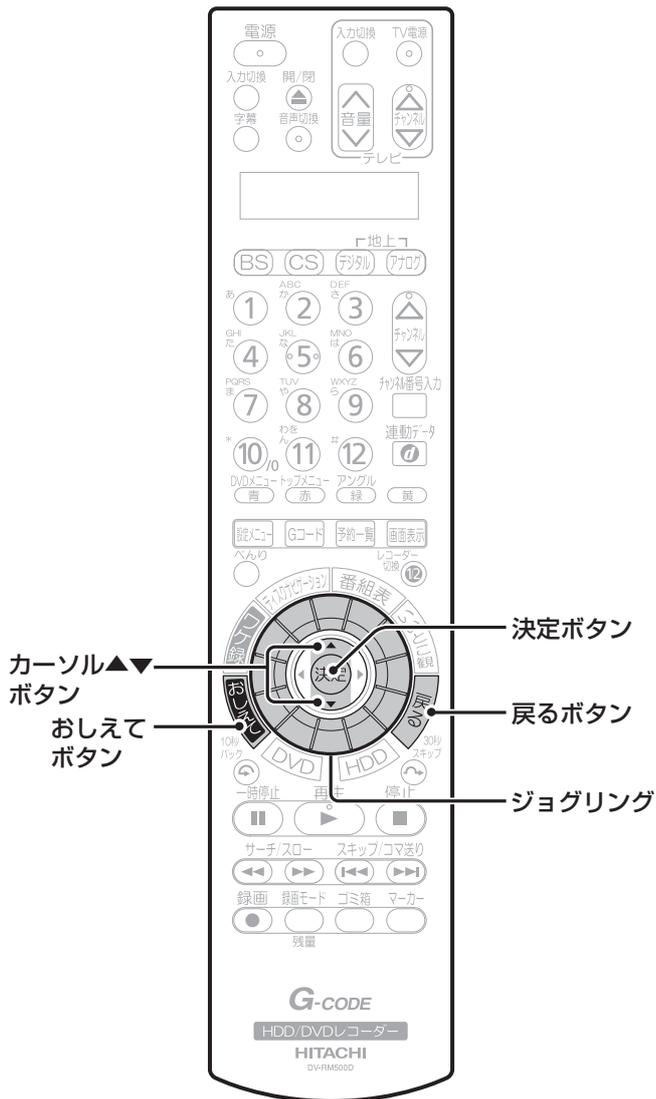
● 利用状況画面に表示される料金は、実際に請求される金額と異なる場合があります。

● 削除した情報は元に戻すことができませんのでご注意ください。

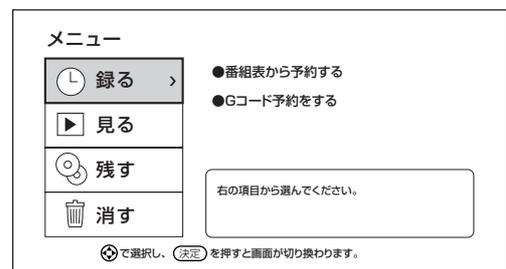
おしえてボタンの使いかた

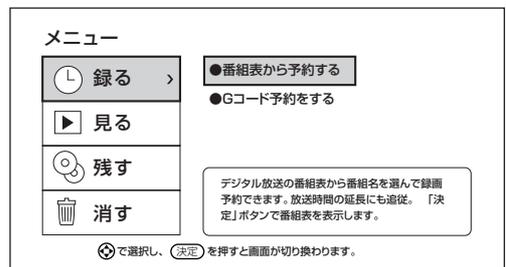
メニューの選びかた

本機には、「録る（録画）」、「見る（再生）」、「残す（ダビング）」、「消す（消去）」の各操作画面までお客様をスムーズにご案内するメニューが用意されています。

リモコンの［おしえてボタン］を押して、表示されるメッセージを参考にしながら操作するだけで、簡単に目的の機能を実行できます。

1 ［おしえてボタン］を押す

2 ［カーソル ▲▼］で「録る」、「見る」、「残す」、「消す」のいずれかを選び、［決定］を押す

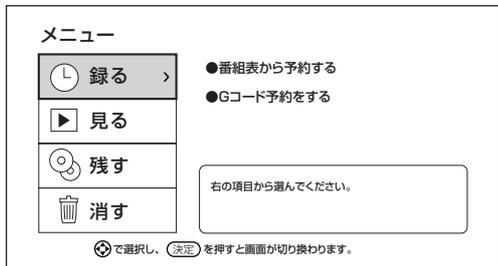
選んだ機能の詳細項目が表示されます。

• ジョグリングを回すと［カーソル ▲▼ ］と同様に項目を選ぶことができます。

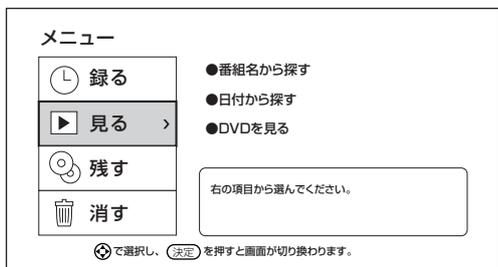
3 表示されるメッセージを参考にしながら、［カーソル ▲▼］で使いたい項目を選び、［決定］を押す

選んだ機能を実行する画面が表示されます。

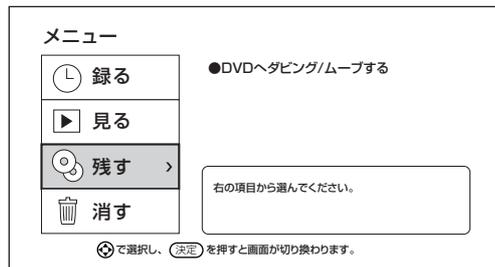
4 ［戻る］を押す

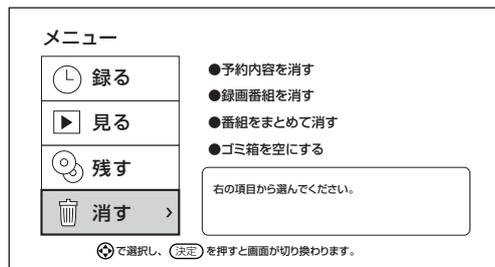
通常画面に戻ります。

メニューの内容

■録る

設定項目	内容
番組表から予約する	デジタル放送の番組表から番組を選び、録画を予約できます。各種設定メニューの「放送時間変更対応」を「する」に設定すると、野球など、延長があっても追従してくれます（58ページ）。
Gコード予約をする	新聞などの番組表に記載されているGコード番号を入力し、アナログ放送の番組を録画予約できます（60ページ）。

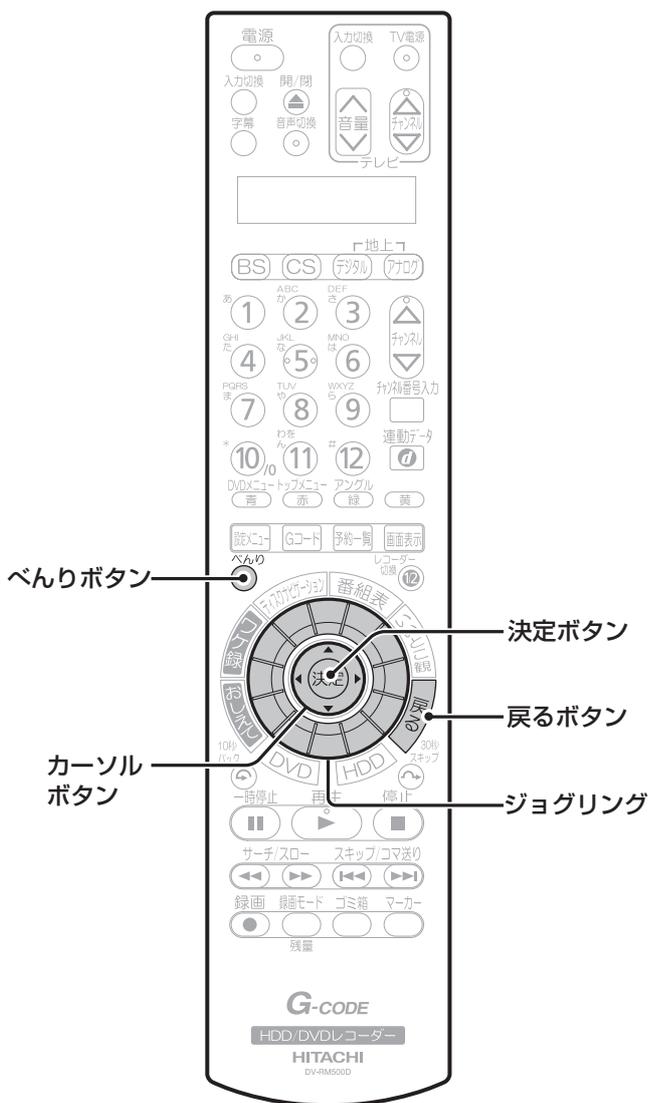
■見る

設定項目	内容
番組名から探す	HDDに録画された番組を再生できます。番組名やジャンル、ユーザーなどに分類して検索できるワケ録ナビ画面から番組を選び、再生できます（90ページ）。
日付から探す	HDDやDVDに録画された番組を再生できます。すべての録画番組が日付順にサムネイルまたは一覧表示されるディスクナビゲーション画面から録画番組を選び、再生できます（87ページ）。
DVDを見る	DVDを挿入してください。[決定]を押すとメニューが消えます（18、80ページ）。

■残す

設定項目	内容
DVDへダビング/ムーブする	録画用のDVDを挿入すると、HDDに録画された番組をDVDにダビングまたは移動できます（114ページ）。

■消す

設定項目	内容
予約内容を消す	予約確認画面で不要な予約内容を選んで消すことができます（78ページ）。
録画番組を消す	ディスクナビゲーション画面で不要な番組を選んで、ゴミ箱に移動することができます。ゴミ箱に移動した録画番組は、ゴミ箱を空にするまでHDDからは消えません（123ページ）。
番組をまとめて消す	ワケ録ナビ画面で録画番組を選んで、ゴミ箱に移動します。フォルダを選ぶと、そのフォルダ内のすべての録画番組をゴミ箱に移動できます（121ページ）。ゴミ箱に移動した録画番組は、ゴミ箱を空にするまでHDDからは消えません（123ページ）。
ゴミ箱を空にする	ゴミ箱に移動した録画番組を消去できます。[決定］を押すとゴミ箱画面を表示します。赤ボタンでゴミ箱の中の録画番組をすべて消去できます（123ページ）。

べんりボタンの使いかた

べんりメニューの選びかた

番組の視聴中や録画番組の再生、ディスクナビゲーション画面表示中、ワケ録ナビ画面表示中などにリモコンの[べんり]ボタンを押すと、使用状況にあった便利な機能が一覧表示され、簡単に実行できます。

1 [べんり] を押す

べんりメニューが表示されます。

- 表示されるメニューは使用状況によって異なります。

2 [カーソル▲▼◀▶]で項目を選び、[決定] を押す

選んだ項目が実行されます。

- べんりメニューが複数ページあるときは、[カーソル ◀▶] でページが切り換わります。
- ジョグリングを回すと [カーソル ▲▼] と同様に項目を選ぶことができます。
- グレー表示の項目は、選べません。

3 操作が終了したら、[戻る] を押す

べんりメニューが消えます。

べんりメニューの内容

■基本的なべんりメニュー

● 1ページ目

べんり 1/2
自動録画
かんたん検索
ディスク管理
プレイリスト
VR静止画
サービス切換
番組説明
ゴミ箱
選択 ページ切換 決定

設定項目	内容
自動録画 (68ページ)	ジャンルやキーワードからデジタル放送の番組を自動録画します。
かんたん検索 (29ページ)	ジャンルやキーワードからデジタル放送の番組を検索します。
ディスク管理 (141ページ)	ディスクトレイに入っているディスクのタイトル入力やプロテクト、フォーマット、ファイナライズを行います。
プレイリスト (134ページ)	録画した番組からお好みの場面を集めて、プレイリストを作成します。
VR静止画 (105ページ)	DVD-RAMに記録されている静止画をテレビ画面に表示します。
サービス切換 (20ページ)	デジタル放送で放送するサービスを、「テレビ放送」、「ラジオ放送」、「データ放送」の3種類から選びます。
番組説明 (26ページ)	現在見ているデジタル放送番組や、番組表などで選んでいる番組の情報を表示します。
ゴミ箱 (122、123ページ)	ゴミ箱画面を表示します。

● 2ページ目

べんり 2/2
写真を見る
メール・ボード
カード情報
利用状況
ダビング中止
予約録画中止
i.LINK 操作
選択 ページ切換 決定

設定項目	内容
写真を見る (106ページ)	SDメモリーカードに記録されている静止画や、デジタルカメラで撮影した静止画をテレビ画面に表示します。
メール・ボード (27ページ)	デジタル放送の放送局から送られてくるメールやボード(お知らせ)を表示します。
カード情報 (28ページ)	B-CASカードの情報を表示します。また、B-CASカードが正しく動作しているかどうかテストすることもできます。
利用状況 (37ページ)	有料番組の利用状況を確認します。
ダビング中止 (115、117ページ)	実行中のダビングを中止します。
予約録画中止 (76ページ)	実行中の予約録画を中止します。
i.LINK操作 (DV-DH1000D/500D) (51、120ページ)	i.LINKコードで接続したi.LINK対応機器などを本機で操作します。

■ディスクナビゲーション画面表示中のべんりメニュー

べんり（編集）
ダビング
部分消去
番組分割
チャプター作成
チャプター一覧
タイトル編集
サムネイル設定
プロテクト
選択 決定

設定項目	内容
ダビング（111ページ）	HDDからDVDへ、DVDからHDDへ、HDDからi.LINKへ、録画した番組をダビング(またはムーブ)します。
部分消去（131ページ）	録画した番組の不要な部分を消去します。
番組分割（125ページ）	録画した番組をお好みの場所で2つに分割します。
チャプター作成（127ページ）	録画した番組にチャプターを作成したり、チャプターポイントを消去したり、選択したチャプターを再生時にスキップさせたりします。
チャプター一覧（130ページ）	各チャプターの先頭の場面を一覧で表示できます。チャプターを再生したり、不要なチャプターを消去したり、選択したチャプターを再生時にスキップさせたりします。
タイトル編集（139ページ）	録画した番組のタイトルを編集します。
サムネイル設定（93ページ）	サムネイル一覧の画像をお好みの場面に変更します。
プロテクト（140ページ）	録画した番組を消去できないようにプロテクト（保護）します。プロテクトされている番組を選んだ場合は、プロテクトを解除します。

■ワケ録ナビ画面表示中のべんりメニュー（サムネイル選択時）

べんり（編集）
ダビング
部分消去
番組分割
チャプター作成
タイトル編集
サムネイル設定
プロテクト
フォルダ移動
選択 決定

設定項目	内容
ダビング（111ページ）	HDDからDVDへ、DVDからHDDへ、HDDからi.LINKへ、録画した番組をダビング(またはムーブ)します。
部分消去（131ページ）	録画した番組の不要な部分を消去します。
番組分割（125ページ）	録画した番組をお好みの場所で2つに分割します。
チャプター作成（127ページ）	録画した番組をチャプターで分割し、不要なチャプターを消去したり、選択したチャプターを再生時にスキップさせたり、プレイリストに登録したりします。
タイトル編集（139ページ）	録画した番組のタイトルを編集します。
サムネイル設定（93ページ）	サムネイル一覧の画像をお好みの場面に変更します。
プロテクト（140ページ）	録画した番組を消去できないようにプロテクト（保護）します。プロテクトされている番組を選んだ場合は、プロテクトを解除します。
フォルダ移動（94ページ）	録画した番組を別のフォルダに移動します。

■ワケ録ナビ画面表示中のべんりメニュー（サブフォルダ選択時）

設定項目	内容
プロテクト（140ページ）	フォルダの中にプロテクト（保護）されていない録画番組が1つでもある場合は、フォルダの中の録画番組を、すべて消去できないようにまとめてプロテクトします。選んだフォルダ内の録画番組がすべてプロテクトされている場合は、まとめてプロテクトを解除します。
フォルダ名編集（95ページ）	フォルダの名前を変更します。

■番組再生中のべんりメニュー（HDDに録画した番組）

べんり
タイムナビ
番組説明
ダビング中止
予約録画中止
選択 決定

設定項目	内容
タイムナビ（85ページ）	録画した番組の再生中に見たい場面の時刻を選び、そこから再生を始めます。
番組説明（26ページ）	現在見ているデジタル放送番組や、番組表などで選んでいる番組の情報を表示します。
ダビング中止（115、117ページ）	実行中のダビングを中止します。
予約録画中止（76ページ）	実行中の予約録画を中止します。

■CD再生中のべんりメニュー

設定項目	内容
全曲リピート（84ページ）	CDに記録されているすべての曲を繰り返し再生します。
一曲リピート（84ページ）	再生中の曲だけを繰り返し再生します。

■チャプター一覧画面表示中のべんりメニュー

べんり
リピート
選択 決定

設定項目	内容
リピート（128ページ）	選択したチャプターを繰り返し再生します。

■DVDビデオ再生中のべんりメニュー

べんり
タイトルリピート
チャプタリピート
アングル
タイトル選択
DVDメニュー
選択 決定

設定項目	内容
タイトルリピート（84ページ）	タイトル単位で繰り返し再生します。
チャプタリピート（84ページ）	チャプター単位で繰り返し再生します。
アングル（103ページ）	複数の方向から映像を記録したディスクの場合、最大9アングルまでカメラアングルを切り換えることができます。
タイトル選択（83ページ）	タイトル番号を指定して再生します。
DVDメニュー（14ページ）	DVDビデオのディスクメニューを表示して、さまざまな操作を行います。

■プレイリスト一覧画面表示中のべんりメニュー

べんり
ダビング
チャプター一覧
タイトル編集
サムネイル設定
リピート
選択 決定

設定項目	内容
ダビング（111ページ）	HDDからDVDへ、DVDからHDDへ、録画した番組をダビング（またはムーブ）します。
チャプター一覧（130ページ）	各チャプターの先頭の場面を一覧で表示できます。
タイトル編集（139ページ）	録画した番組のタイトルを編集します。
サムネイル設定（93ページ）	サムネイル一覧の画像をお好みの場面に変更します。
リピート（136ページ）	選択したプレイリストを繰り返し再生します。